

青少年委員制度発足 70 周年記念誌

「生きる」
～ 未来の子どもたちへ ～



西新井橋と富士山



足立区青少年委員会
足立区教育委員会



千住の大はし

名所江戸百景

大はし

千住大はし

名所江戸百景 千住の大はし

目次

「生きる」未来の子どもたちへ 足立区青少年委員会会長 多島三好	3
祝 辞	4 ~ 14
足立区青少年委員制度発足 70 周年記念事業 経過報告	15
記念宿泊研修	16 ~ 17
記念講演会	18 ~ 19
足立区民「二十歳のみなさんに聞きました」	20 ~ 21
青少年委員会 10 年間の活動 ~ 歩み ~	22 ~ 27
青少年委員会活動の紹介	28 ~ 29
青少年委員会ブロック紹介〔第 1 ブロック～第 13 ブロック〕	30 ~ 42
青少年委員会正副会長会	43
青少年委員会ブロック部会	44
青少年委員会専門部 事業部	45
研修部	46
広報部	47
歴代青少年委員名簿〔小学校・中学校〕	48 ~ 52
歴代関係職員名簿	53
制度発足 70 周年記念事業実行委員会 組織図	54
青少年委員担当職員／編集後記	55

「生きる」

～ 未来の子どもたちへ ～

東日本大震災や新型コロナウイルス感染症などの意想外な災禍により、多くの尊い命が失われました。

生きることの重要性を伝えるためには、人々との絆を深め、愛情や思いやりの大切さを理解し、夢や目標を見つけて、人生の充実と成長を感じさせる必要があります。

青少年委員会では、足立区の未来の子供たちのために「生きる」ことの喜びや楽しさを伝える活動に励んでまいります。



桜に映える



「生きる」未来の子どもたちへ

足立区青少年委員会 会長 多島 三好

2020年4月に前任の下川会長より会長職を引継ぐこととなった矢先に、新型コロナウイルス感染症拡大の洗礼を受け、2年間は委員会活動がほとんどできなくなりました。学校や地域との活動も止まってしまい、総会等も書面決議となったことからコミュニケーションも取れず、悶々とした日々を過ごしたのを思い出します。

委員会では昨年度から青少年委員制度発足70周年記念事業に向けて実行委員会を立ち上げ、60周年記念事業を参考にしながら様々な意見を交わしてきました。テーマ「生きる」は子供たちが命の大切さを知り、思いやる心を育てて欲しいなどの想いを込めて決めました。

70周年記念事業として最初に6月4日の健全育成団体親睦ソフトボール大会を4年ぶりに開催しました。試合終了後は綾瀬の勤労福祉会館で成績発表や各団体の方々と意見交換をすることができました。

6月24日から25日には記念宿泊研修を行いました。福島県相馬市への視察は3度目となり、東日本大震災(2011年3月11日14時46分)の復興の様子を引き続き体験をしました。双葉町の伝承館では震災記録を拝見し、語り部の方の体験を聞くことができました。請戸小学校では大震災がもたらす脅威、その中で迅速・的確な行動により児童、教職員全員が難を逃れたという奇跡に心を打たれました。

過去から学び、未来へ繋げようと残された「震災遺構 請戸小学校」には、皆が深い感銘を受けました。また、相馬市長の立谷秀清様から拝聴した大震災からの12年間で取り組まれた復興に関する講演は、我々青少年委員にとって大変貴重なものとなりました。遠くない未来にくるであろうといわれている大震災に備え、我々の力も地域・学校に役立てればと強く思った次第です。

70周年にあたり、青少年委員の活動について改めて考えてみました。青少年委員は地区対に参画し、開かれた学校づくり協議会委員として活動するなど、学校、地域と行政のパイプ役として活動しています。また、各事業や研修、広報活動を通じて情報共有や相互理解、情報発信を図っています。今、アフターコロナ、デジタル技術の向上など社会情勢の変化に伴い子供たちを取り巻く環境も変化しています。それに対応すべく各団体とも協力をして子供たちが楽しく学び、健やかにたくましく成長できるように活動してまいりたいと思います。

結びとなりますが、足立区及び足立区教育委員会には青少年委員活動及び委員会活動に対してご理解とご支援をいただいております。この場をお借りしまして御礼申し上げます。今後とも基本に戻り足立区青少年委員会一同、更に実りある活動を目指していくことをここに約束し挨拶いたします。



足立区青少年委員制度発足70周年を祝して

足立区長 近藤 やよい

足立区の青少年委員制度が発足して70年という節目の年をお迎えになられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

昭和28年から始まった青少年委員の活動が、平成・令和と時代が変わり、社会環境が大きく変化しても、常に区の青少年健全育成活動に寄り添い、地域のコーディネーター役としての重要な役割が脈々と受け継がれてまいりました。その重責を担いながら、70年という長きにわたりご尽力いただきました、歴代および現役の委員の皆様方のたゆまぬ努力に、敬意と感謝を表します。

この10年間、足立区では、子どもたちの基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、貧困などの厳しい環境にある子ども・若者を孤立させない取り組みを進めてまいりました。

平成30年度には、学力向上の取り組み強化及び学校運営の支援の充実のため、学校教育部を「教育指導部」と「学校運営部」に再編いたしました。令和3年度には、「中途退学予防の強化」「中途退学後の支援」を2本柱に、子どもたちを支える様々な機関がネットワークを形成し、専門性を生かした子ども・若者への支援を効果的かつ円滑に実施するための「若年者支援協議会」を設置しました。また、令和5

年度からは、私立幼稚園、認定子ども園および区立小学校・中学校の給食費無償化や、返済不要の給付型奨学金など、未就学児から大学生まで切れ目ない支援を行う「子ども・若者全力応援プラン」に取り組んでおります。

しかしながら、当然、行政の活動だけで課題が解決できるものではなく、地域の皆様のお力添えが不可欠でございます。とりわけ、家庭、学校、地域の三者の架け橋になっていただいております青少年委員の皆様のご活躍に、大きな期待を寄せております。

皆様には今後とも、次代を担う全ての子どもたちが「たくましく生き抜く力」を育めるよう、地域の中心としてご活躍いただけますようお願い申し上げます。区も引き続き、真に必要な子ども施策を先手先手で打っていくために、庁内各部署の連携を密にし、緊張感をもって臨んでまいります。

結びとなりますが、足立区青少年委員会がこの70周年を契機に、今後ますますご発展されますとともに、委員の皆様のご健勝、ご活躍を心より祈念いたしました。お祝いの言葉といたします。



足立区青少年委員制度発足 70 周年を祝して

足立区議会 議長 工藤 てつや

足立区の青少年委員制度が発足して 70 周年を迎えられ、このたび記念誌を発行されるにあたり、足立区議会を代表しまして心からお祝い申し上げます。

70 年にわたる長い歴史の中、青少年委員の皆様は常に子ども達に寄り添い、区の青少年健全育成のために重要な役割を果たされてこられました。ご尽力いただきました歴代の青少年委員の皆様をはじめ、現役委員の皆様のご努力に感謝と敬意を表します。

近年、子ども達を取り巻く状況は大きく変化しており、特に、子どもの貧困問題への注目が高まっています。足立区は、平成 27 年度に全国に先駆けて「未来へつなぐ あだちプロジェクト（足立区子ども貧困対策実施計画）」を策定し、子どもの貧困を社会的孤立や健康上の問題など成育環境全般にわたる複合的な課題と捉え、「予防」「連鎖を断つ」を主眼に置いた総合的な対策を行ってきました。

このプロジェクトを進める中で、「子どもが地域活動に積極的に参加して経験・体験を積み、ロールモデルとなる大人と関わることで、逆境を乗り越える力を培える可能性があること」が明らかになりました。

そのため、地域で子どもたちの実情を的確に把握し、家庭・学校・地域を結び付け、様々な活動を柔軟かつ創造的に展開されており、青少年委員の皆様にかかる期待はおのずと大きくなってまいります。

次代の担い手である子どもたちが「生き抜く力」を身につけることで、自分の人生を自ら切り開き、貧困の連鎖に陥ることなく社会で自立できる環境をつくることは、我々大人の重要な責務です。今後も、足立区の子どものために、青少年委員の皆様には、地域のコーディネーターとしてより一層の力を発揮していただけますようお願いいたします。

足立区議会といたしましても、子どもたちが幸福感や充実感、豊かさを実感しながら日々を送れるよう、青少年委員の皆様をはじめ、子どもたちと地域で関わる多くの方々と協力して、足立区の一層の発展のために全力を尽くしてまいります。

結びにあたり、これまでの活動を支えてこられました歴代の青少年委員の皆様をはじめ、現役委員の皆様のご活躍と、益々のご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



未来を担う子どもたちのために

足立区教育委員会 教育長 大山 日出夫

青少年委員制度発足70周年、誠におめでとうございます。各青少年委員の皆様、歴代の委員の皆様にはこれまで、70年の長きにわたり足立区の子どもたちの健全育成の中心としてご尽力いただいたことについて心より御礼申し上げます。

「教育は国家百年の大計」と言われます。長期的な視点で人材を育成していくことは何物にも代えがたいといった意味ですが、まさに青少年の健全育成も同様だと思います。将来の地域の担い手となる子どもたちを育成するために学校や地域、家庭が一体となって取り組まなければなりません。

このような、学校、地域、家庭を結びつけるためのコーディネート役であるのが青少年委員の皆様です。それぞれの立場を考慮しつつ子どもたちの最善の利益を第一に考え健全育成に尽くされてこられたことには本当に感謝しております。

近年は、インターネット環境をはじめ社会の変化が非常に激しい時代となっております。子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。昨日までの常識が将来も通用するとは限りません。

特にここ3年は新型コロナウイルスが猛威をふるい、一斉休校や分散登校など子どもたちにとって過去に経験したことのない日々の連

続でした。学校だけでなく地域の大人たちが子どもたちとかかわる機会も大幅に制限されてきました。このような日々は、子どもたちの成長にも大きく影響を及ぼしております。

ようやく社会全体が、日常を取り戻しつつあるなか、次代を担う足立区の子どもたちが、たくましく、生き生きと、そして健やかに成長していく環境を作ることには私たち大人の重要な役割でもあるとともに共通の願いでもあります。子どもたちは、大人の背中を見て成長します。大人たちがともに手を携え、子どもたちのよい見本となることが子どもたちの健全な成長につながります。

とりわけ、地域に根差して子どもたちの実情を的確に把握し、様々な場面においてご活躍いただいている青少年委員の皆様からの子どもたちへの温かいご支援は非常に重要となります。また、学校、地域、家庭の架け橋になっていただいている青少年委員の皆様へは各方面からも大きな期待がなされているところですので、ぜひ、これまで以上に各関係機関と強固に連携しながら、子どもたちの健全育成の後押しをいただければ幸いです。

結びとなりますが、青少年委員の皆様様の益々のご発展とご活躍をお祈りいたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



いつも、熱い応援をありがとうございます！

足立区教育委員会

前教育長 定野 司

小中学校の現場で「働き方改革」が叫ばれています。教師の最高のパフォーマンスの舞台であるはずの学校がどうして？
当事者である教師に尋ねました。

「働き方改革で時間ができたら、何に使いたい？」
答えは二つです。

「教材研究がしたい」

子どもたちが興味・関心を持ち、自ら考え、進んで学ぶ。めざすのは「深い」学びです。

「子どもたちと触れ合う時間がほしい」

子どもたちの成長を、もつとそばで、肌で感じたい。それは、教師が自らの成長を「実感」する時間でもあります。

こうした教師の言葉に私は何度も救われました。恒例の百人一首大会、養護教諭とのケーキパーティ、子どもたちが主張する「すこやかネットワーク」、ブロック毎の教育懇談会など、様々な舞台で青少年委員の皆さんと一緒に汗している教師の姿に、私は教育委員会の調査では決して出てこない、教師の本気の本音を感じていました。

学校の主役はもちろん子どもです。しかし、子どもの前に立つ教師（そして、青少年委員の皆さん）の生きざまこそ、子どもたちに生きるエネルギーを与えるのです。こうした舞台をつくり（ときには舞台に立ち）、応援してくださる皆さんに心から感謝申し上げます。そして、これからも引き続き、学校の、教師の、子どもたちの良き応援団であってほしいと願っています。

足立区青少年委員制度発足70周年をお祝い申し上げ、委員ならびに関係各位のますますのご活躍を心から祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。



青少年委員制度七十周年に寄せて

足立区教育委員会

元教育長 青木 光夫

青少年委員制度七十周年、誠におめでとうございます。

足立区を愛し、その未来を安心で心豊かなものにと願う皆様のご努力により、青少年委員の活動は今日まで脈々と受け継がれ、足立の子どもたちの健やかな成長を支える大きな力となってきました。これまでの活動に携われた歴代の委員の皆様、そしてご家族の皆様
に心より感謝を申し上げます。

いつの時代も、地域は子どもたちのホームグラウンドであり、人と人との触れ合いが豊かに息づく成長の場です。各委員の皆様は、その地域にあつて、学校・家庭・地域の連携のコアとなる活動に携わってこられました。そして青少年委員会は、各委員の活動を支える組織として、委員の改選・委嘱の都度改めて組織され、数多くの取り組みを続けてこられました。全ての委員の皆様が、それぞれの地域への眼差しを持ちながら青少年委員会というオール足立の活動に参集し続けたことは、足立区における健全育成の基盤を形成する上でまことに大きな力になったと思います。

時代は変化を続け、青少年期を地域の人々の交流に触れながら育つことの意義は、これまで以上に重みを増すものと思われませんが、今後も健全育成そして教育の成果が、子どもたちの成長を通して安心で心豊かな明日の足立区の実現へと、絶える事なく実を結んでいくことを願うものです。

各委員の皆様、そして青少年委員会には、これからも学校・家庭・地域の連携の要として、益々その力を発揮されますことを心よりお祈り申し上げます。



七十周年をお祝いして

足立区青少年対策地区委員会会長連絡協議会

会長 加藤 和明

青少年委員制度発足七十周年誠にめでとうございます。

この間、青少年健全育成や非行化防止にご尽力をいただきました熱意に心より感謝申し上げます。

足立区内には二十五の青少年対策地区委員会（地区対）があり、地域の子どもは地域全体で見守り、健全育成を目指して、主催事業、共催事業合わせて、年間約百七十の事業を行っています。青少年委員は各地区対において、それらの事業のリーダーとして、また、PTA経験者も多く、学校と地区対・地域を結ぶパイプ役として地域に根ざした活躍をしていただいております。

少子高齢社会が進む中で、次代を担う子ども達にとりまして安全・安心で、より良い地域の社会環境作りは私達大人の責務であります。今日まで長きにわたり青少年の地域活動を育んでいただき、地域の指導者であります青少年委員の役割・期待は大変高いものがありますので更なるご活躍をよろしく願っています。

青少年委員の皆様が、委員制度発足七十周年という輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、ますます発展されますことをご祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。



足立区青少年委員制度七十周年を祝して

足立区スポーツ推進委員会

会長 羽住 敏久

この度は、足立区青少年委員制度七十周年を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

近年めまぐるしく変化する社会環境は、青少年の意識や行動、人間関係に大きな影響を与えています。特に、直近の新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭・学校での感染対策重視の生活が続き、委員会活動もご苦労されたことと推察します。

こうした中で青少年委員の皆様におかれましては、「開かれた学校づくり協議会」をはじめとする学校・家庭・地域の連携事業や、世代交流をとおした生活や社会、「年中行事・記念日を大切に」をテーマにした多くの事業に取り組んでおられます。

一方、私たちスポーツ推進委員は、子どもの体力向上や区民の健康づくり、地域の生涯スポーツ環境づくりに向けて活動しております。子どもたちを取り巻く教育や地域課題に対し正面から立ち向かっていくためには、青少年委員と我々スポーツ推進委員の連携、協力が必要です。重要になっています。

貴会とは、平成二七年に連携事業として、子ども向けのニュースポーツ「フラッグ鬼ごっこ」を開発しました。コロナ禍前までは放課後子ども教室の体験プログラムに導入され、現在も一部地域（総合型地域クラブ・地少協）で実施しております。

最後に、青少年委員会の歴代の会長をはじめ委員の皆様のご長年の長きにわたるご尽力に対し敬意を表しますとともに、今後のますますのご発展、ご活躍を祈念いたしましてお祝いのご挨拶といたします。



足立区青少年委員制度発足70周年を祝して

足立区少年団体連合協議会

会長 四宮 淳司

青少年委員制度が70周年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。

青少年委員会の皆様には、少連協の運営、各地域での子ども会活動にお力添えをいただき厚く御礼申し上げます。

子どもたちを取り巻く環境は、この30年ほどで著しく変化してきました。情報化、デジタル化の波が一気に押し寄せ、大人・子どもを問わずのみ込まれてしまいました。野原や公園で遊んでいた子どもたちは、家でひたすらスマホやゲーム機と向き合い、独りで過ごす時間が多くなりました。さらに昨今のコロナ禍での新たな生活様式により、子どもたちの生活環境は大きく変化しました。

今まで以上に、我々青少年健全育成団体が心を一つに、子どもたちに多様な体験活動の機会を創出していかなければならないと改めて思っています。

最後に、青少年委員会の益々のご発展、ご活躍を祈念いたしましてお祝いのご挨拶とさせていただきます。



五色桜大橋通過



青少年委員制度七十周年を祝して

足立区立小学校長会会長

栗原小学校長 田中 泰徳

足立区青少年委員制度発足七十周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

七十年という長きにわたり、地域・家庭・学校をつなぎ、青少年の健全育成に向けてご尽力いただいた、歴代会長をはじめとする青少年委員の皆様にご感謝申し上げます。

ここ数年のコロナ禍により、学校や地域における子供たちの体験や活動が大きく制限され、コミュニケーション力や体力の低下が心配されています。一方で一人一台タブレット端末が配られ、家庭においても授業が受けられる便利な環境になりましたが、大人からは見えにくいネット社会の波に子供たちは晒され、様々なトラブルも起きています。

これからの時代は、今まで以上に人や自然、もの等と直接的にかかわり、他者と協働するための「豊かな心」、困難を乗り越える「たくましい体」、課題をよりよく解決する「かしこい頭」が必要となります。青少年委員の皆様には、日ごろから学校や開かれた学校づくり協議会、PTAをはじめ、地域や区の行事等にも多面的にかかわっていただき、そして、子供たちが少しでもよい体験をし、よりよく成長できるようにご尽力いただきましたが、これからはその取り組みが今まで以上に大切な時代になると強く感じています。

私共、足立区立小学校長会も次代を担う子供たちの健やかな成長のために全力で取り組んでまいりますので、青少年委員会の皆様には、変わらぬご支援を賜りますとともに八十周年に向けてますますご発展されることをご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



七十周年を祝して

足立区立中学校長会会長

谷中中学校長 武藤 秀徳

足立区青少年委員制度発足七十周年を迎えられましたことに、中学校長会を代表してお祝い申し上げます。また、七十年という長きにわたり、子供たちの健全育成にご尽力いただいている歴代会長をはじめとする委員の皆様にご敬意を表するとともに感謝申し上げます。

青少年委員会の皆様には様々な行事・活動を通して、小中学生や卒業生はもとより、我々中学校長会もお世話になっております。とりわけ個人的に印象深いのは「子ども百人一首大会」です。小学生でも百首を暗記するなど子供たちの学習の励みになるとともに、緊張感が漂う会場で、青少年委員の皆様が真剣な表情で審判をされている姿も印象的でした。また、学校の管理職として有り難く思っているのは、ブロック毎に開催されている「教育懇談会」です。お話しする機会がありません。他校の教育関係者と、タイムリーなテーマで意見交換や情報共有ができる貴重な会となっています。

コロナ禍も一段落して元の活動ができるようになり、「健全育成団体ソフトボール大会」も復活しました。今後とも足立の子供たちの健やかな成長を願う関係団体や家庭・地域・学校を結ぶ要として、ご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、青少年委員会の益々のご発展を祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



制度発足 70 周年を祝して

足立区立小学校 P T A 連合会会長

加平小学校 P T A 会長 大久保 孝雄

足立区青少年委員制度が 70 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。また、日頃より青少年委員の皆様には、子どもたちの健全育成へのご尽力とともに、P T A 活動へのご理解と多大なるご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

ここ数年、新型コロナウイルスの影響により生活様式や社会環境が大きく変化し、学校の授業や課題学習でもタブレットを活用したデジタル化が急速に進み、子どもたちのコミュニケーションの手段や能力が大きく変化しました。また、子どもたちの健全育成における課題もこれまでとは異なってきました。まさに今こそ青少年委員の皆様のお力が必要な時で、保護者、学校、地域のパイプ役として、子どもたちの健全育成に更なるご支援を賜りたいと存じます。

将来を担う子どもたちが生き生きと笑顔になれる活動は何か、求められる活動は何かなど青少年委員の皆様と各小中学校、P T A、そして開かれた学校づくり協議会などの関連団体とでしっかり議論しながら連携し取り組んで参りたいと存じます。

最後になりますが、これまで以上に各校 P T A 活動や学校行事へのご支援をお願い申し上げますとともに、青少年委員会の益々のご発展と委員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



足立区青少年委員制度発足 70 周年祝辞

足立区立中学校 P T A 連合会会長

伊興中学校 P T A 会長 那須 康一

青少年委員制度七十周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。青少年委員の皆様には、学校行事や地域との連携など様々な活動に、生徒たちの健全育成において重要な役割を果たしていただいていることに中学校 P T A の保護者を代表しまして、心より感謝申し上げます。

さて、昨今の新型コロナウイルスの流行により、社会の生活様式が劇的な変化をしております。同様に、生徒たちを取り巻く環境においても大きな変化の渦の中にあります。このような時代だからこそ、大人である我々が『地域の宝である生徒たち』のお手本となるよう先陣を切って、新しい時代を切り開いていかなければなりません。そして、次世代へと継承していくことも大切であると思えます。

そのためには、地域や学校・P T A との連携に、青少年委員の皆様によるお力添えが今まで以上に重要な役割となつてきていると思えます。

その上でも、青少年委員の皆様には、地域のコーディネーターとして、益々のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



青少年委員制度 70 周年に寄せて

足立区教育委員会

子ども家庭部長 上遠野 葉子

青少年委員制度 70 周年おめでとうございます。

青少年委員の皆様と係らせていただくようになり 10 数年になります。この間、子どもたちを取り巻く環境は大きく変わりました。

今、子どもたちはタブレット端末を活用しながら勉強し、英語学習は小学校から始まっています。正にグローバルに活躍する人材、能力が求められています。一方、様々な活動が停滞してしまったコロナ禍を経て、人が出会うこと、関わり合うことの大切さを、改めて多くの皆様が感じていることと思います。

関係性が希薄になりつつある現在、家庭とも学校とも違う立場で子どもたちに多くの体験の機会を設け、時にお節介とも思える関わりで子どもたちの成長をご支援くださる地域の皆様、青少年委員の皆様のお力はこれから益々重要なのではと思っております。

子どもたちの生きるちからを育む、未来へのご支援を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



足立区青少年委員制度 70 周年を祝して

足立区教育委員会子ども家庭部

青少年課長 物江 耕一朗

足立区青少年委員制度が発足して 70 年の記念すべき年を迎えられましたこと心よりお祝い申し上げます。

各青少年委員の方々、また歴代の青少年委員の方々には 70 年の長い間、学校と地域、行政のつなぎ役としてご尽力いただきまして心より感謝申し上げます。

近年、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しております。特にコロナ禍における 3 年間は様々な活動に制限がかかり子どもたちも思うような活動ができない時間を過ごしました。

一方で令和 5 年 4 月にはこども家庭庁が発足し、「こどもまんなか社会」の実現に向けて今まで以上に子どもたちに注目が集まっています。

このような変化の激しい時代を子どもたちが力強く生きていくためには、様々な経験が豊富な青少年委員の方々の力が今まで以上に必要とされています。ぜひ、前例にとらわれず、個々の地域の特色や皆様の個性を活かし、引き続き学校、地域、行政の強固なパイプ役として子どもたちのために力を発揮していただければと思います。

今後足立区の子どもたちが健やかに成長できるよう、青少年委員会の皆様におかれましては、より一層のお力添えをお願いいたします。



足立区青少年委員会祝辞

足立区青少年委員会 元会長 荒堀 安行

創立七十周年誠にありがとうございます。

青少年委員の前身は、戦後間もないころ戦災孤児の居場所つくりとして立ち上げられたと聞いております。足立の青少年委員も70年という長きに渡り子ども達のために、いろいろな活動をしてきました。

私は、十六年間、青少年委員として活動をしてきました。その内、会長として十年務めてきました。その思い出は沢山ありますが、

一つ目は、毎年行われる各ブロックの教育懇談会で、中学校の校長先生方から青少年委員を必要としているのは中学校だとの意見が毎回のように出ておりました。当時は、全小学校に青少年委員が配置されていましたが、中学校には、配置されておりませんでした。問題行動を起こす生徒がいる学校にこそ活動の場があると訴えられておりました。

小学校だけでも、都内一の委員数にもかかわらず中学校に配置となるといろいろと、問題が生じます。数年かかりましたが、区の英断で配置が決定されました。

二つ目は、「伝統、文化、家庭の記念日を大切にしましょう」という取り組みです。忙しさを理由に、それらを忘れてしまいがちですが、伝統、文化、家庭の記念日を大切にすることで、子ども達に、生きる尊さ、命のつながり、大切さを改めて感じてもらう機会にと、カレンダーを作りました。

まだまだ思い出はありますが、青少年委員会の益々のご活躍をお祈りいたします。



青少年委員制度発足70周年への

感謝と期待

足立区青少年委員会 元会長 北島 一弘

この度は、青少年委員制度発足70周年を迎えられ、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

月日が経つのは早いもので、私は制度発足60周年の実行委員長を務めさせていただきましたが、当時は、東日本大震災（2011年3月11日）から3年が経とうとしていました。また、2021年には「東京オリンピック」が開催され、日本チームの大活躍を見ることができました。その後の10年間の重要事項は何と言っても「新型コロナウイルス」の感染による活動の制約ではなかったでしょうか。地域の行事や事業の中止による停滞、会議の延期や中止などが主な対応でした。しかし何と言っても新型コロナウイルス「5類」移行が決まりましたが、分類が変わっただけでは感染者の減少は難しいのではないかと思います。

この10年間を振り返り、正さなければならない事項があるのなら反省し、是正してから進めて行きたいものだと思います。社会情勢の変化に合わせるように子どもを取り巻く環境も変わっていきます。青少年委員の活躍の場もそれに従い変化していくことでしょう。制度の是非もあるでしょうが、まずはお互いに理解し、協力することです。今後とも「協働の気持ち」を基本に実りある活動を目指してください。今後とも、足立区の子ども達が健やかに成長できますように、より一層の努力をお願いし、お祝いの言葉といたします。



元気に楽しく活動しましょう 青少年委員

足立区青少年委員会 前会長 下川 佐智子

足立区の青少年委員制度が発足して七十周年をお迎えになられましたことを心よりお慶び申しあげます。

青少年委員の皆さまには、日頃より子どもたちへの健全育成に多大なご尽力をありがたく厚く感謝を申しあげます。

社会はさまざまな分野で大きく変化し、そのスピードは加速しています。すばらしい進歩ではありますが、予想されていた課題もあれば思いもよらない重大な問題も現れてきています。子どもたちもこのような社会の中でいろいろな影響を受けていることは否めません。

子どもたちが元気に育って欲しいと願うのはすべての人の願いで、大事に育てるのは大人の責任です。学校や家庭、地域がそれぞれ持っている役割を認識しお互いに密接に繋がって風通しのよい関係であることが第一歩ではないかと思えます。

活動は地味で結果が見えにくいこともあるでしょう。子どもたちの健全育成に強い想いを懐いていらっしゃる皆さまが取り組みを続けることで、子どもたちを救い子どもたちの未来が明るく大きく広がっていくと確信しています。

これからも、子どもたちの健やかな成長を願う青少年委員の活動に大いに期待しております。

青少年委員の皆さまのますますのご健勝、ご活躍をお祈り申しあげ、お祝いのごことばいたします。



水鏡

経過報告

「生きる」

～ 未来の子どもたちへ ～

◆ 記念宿泊研修

令和5年6月24日(土) ～ 25日(日)

◇ 福島県相馬市への視察および研修

◆ 記念講演会

令和5年11月19日(日)

足立区立第四中学校 体育館

◇ テーマ 「生きる」あの時を忘れない …

『地震が起きたときに、どうすればいいのか』

講演者 相馬市伝承鎮魂祈念館 語り部 五十嵐ひで子様

◆ 記念式典・祝賀会

令和6年2月18日(日)

浅草ビューホテル「飛翔の間」

◇ 記念式典

◇ 記念祝賀会

◆ 青少年委員制度発足 70 周年記念誌

令和6年2月18日(日) 発行



冬の日暮里舎人ライナー

記念宿泊研修

令和5年6月24日～25日

福島県相馬市

1日目は、バス車内で「災害時の対処の仕方」のDVD視聴による研修。震災当時の避難場所と原発事故の対応拠点になっていた「ヴィレッジ」を視察し、その後、東日本大震災・原子力災害伝承館にて展示物と講話による事故当時の様子や復興に挑戦する福島県の姿を見て、たくさんの方を感じた瞬間でした。



震災遺構の浪江町立請戸小学校は海から約300mという場所にあり、校舎1階の状態は津波の凄さを物語っていました。地震発生直後、校長先生の判断で児童、教職員が裏の大平山まで歩いて避難をしています。学校に子供を迎えにきた保護者も帰宅させず一緒に避難をして全員が助かっています。いざという時のリーダーシップを考えさせられました。



学校の裏から大平山を見るととても遠く、恐怖の中で避難する児童と先生方のことを思うと、普通では考えられない状況でも生きようとする気持ちが一番大事だと感じました。



2日目は、バスの車窓から当時の津波被害の説明を現地観光バスガイドから受けながら伝承鎮魂祈念館に向かいました。

慰霊碑に祈りを捧げた後、語り部の五十嵐ひで子さんに震災時の状況や津波にのまれた話を伺いました。手をつないでいた叔父が津波にさらわれ、手が離れ流されていく様子や最後の叫び声の話は実際に経験したかのようにその情景が目には浮かび、涙を隠せませんでした。最後に「助かったら何かしたい」と語り部を引き受けたこと、そして、「自分たちの命は自分で守る」との言葉が心に響きました。参加した全員と握手やハグをしました。その手の温かさは一生忘れないと思います。



千客万来館にて、立谷相馬市長に復興の様子についての講演をしていただきました。ここでも強いリーダーシップと何を一番の最優先とするのか、その時々で柔軟に行動をする術を学ばせていただきました。震災から12年。まだまだ、復興途中ということや子供たちに視点を置いたことだけでもたくさんの支援が必要ということでした。また、青少年委員会からは復興支援金を贈呈し、震災にて保護者を亡くした子供たちの教育資金としてお使いいただけることでした。

今回の研修を通して、改めて自然災害の怖さを認識する一方で復興に向けての力強さを感じることもできたと思います。参加した委員全員が実りある研修会になったと感じていると思います。今後も何らかの支援を継続していければと思います。



記念講演会

テーマ 「生きる」あの時を忘れない…

『地震が起きたときに、どうすればいいのか』

令和5年11月19日、足立区立第四中学校校体育館において、福島県相馬市伝承鎮魂祈念館の語り部 五十嵐ひで子様をお招きし、委員制度発足70周年記念講演会を開催いたしました。

講演は、五十嵐様の東日本大震災における被災経験をもとにした内容であり、当日は秋晴れの穏やかな日差しに見守られ、近藤やよい足立区長、長井まさのり足立区議会副議長をはじめ、多数のご来賓の方々にご臨席を賜り、小学校・中学校校長、開かれた学校づくり協議会会長、小学校・中学校PTA会長及び学校関係者の皆さまにも多数ご出席いただきました。



福島県相馬市と足立区が結んでいる災害協定から生まれたご縁により、青少年委員会では、平成25年6月と平成30年11月の二度にわたり、震災後の復興視察に赴いております。そして、今年度の委員制度発足70周年記念事業の一環として開催された記念宿泊研修会にて、三度目の訪問をさせていただきました。この研修会での五十嵐様との出会いが、今回の講演会をお願いするきっかけとなっております。

講演では、町が津波にのみ込まれていく様子を視聴した後、五十嵐様の被災した体験話が続きました。津波にのみ込まれながらも松の木に必死にしがみついて、つないでいた叔父の手が離れ、また一緒にいたご主人もその波のなかに「ひで子お〜」と叫びながら姿を消していった。その後、ご自身も波にのまれ着ていたものも剥がされ、気がついた時には瓦礫から顔だけが出ている状態でした。必死に助けると叫び消防団に救助されたという壮絶な体験が語られました。その体験を時折ユーモアを交えながらお話しされる五十嵐様のお人柄と、何よりも今を生きる力強さを感じさせられるものでした。



五十嵐様が被災経験より子供たちに伝えたい言葉には「意識を持った行動を」と「自分の命は自分で守れ」というものがあります。伝え聞いて、教えられたことを理解し意識を持った行動が自分自身を守り、そしてその上に他人を守ることができるのだと言えます。

委員制度発足 70 周年に掲げたテーマ「生きる」
 「未来の子どもたちへの「生きる」とは、ただ生命を維持することだけではなく、それは困難に立ち向かう力強さ、そして未来への希望を感じることでできる言葉であるため、被災経験とそれを語り伝え続ける中から生まれてくる温かくも力強い五十嵐様のお言葉からも、同様のことを教えていただいたように感じました。



五十嵐様におかれましては、くれぐれもご自愛いただき、今後も語り伝えていただきますようお願い申し上げます。私も青少年委員も福島県相馬市及び記念講演会での教えを意識して、これからも伝え続けることをお約束します。

※参加された皆さまの感想より

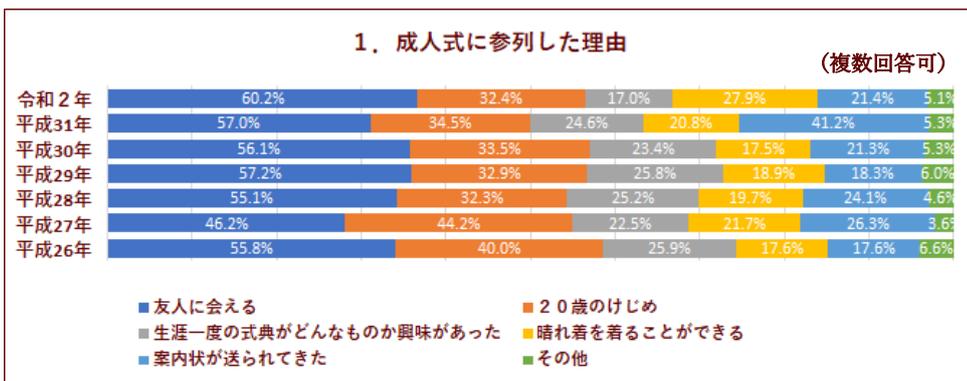
- ・ 実際に体験されたお話は伝える力が格別です。
- ・ 私たちができることは、「東日本大震災を決して忘れない」ことだと思います。
- ・ 「風化させない」「伝え続ける」「自分の命は自分で守る」等の感想が多くありました。

足立区民「二十歳のみなさんに聞きました」

足立区青少年委員会広報部では、成人の日
に式典会場を訪れた
新成人にアンケート
調査を約20年程前か
ら実施してきました。
毎年その結果は、広報
紙「青少年委員会だよ
り」で報告してきまし
たが、記念誌発刊にあ
たり今回は平成26年
から令和2年までの
回答結果の推移を検
証してみることにし
ました。コロナの影響
で、式典が動画配信に
よる開催となった令
和3年や、その後も動
画配信を継続しつつ、
午前と午後の二部制
での開催や、十八歳を
成人と規定する法改
正により令和5年か
ら式典名を「二十歳の
集い」と改称するなど
時代とともに変わっ
てきています。

成人式に参列した理由

式典の参加者数は、記録が残る平成17年以降、毎年新成人の約半数にあたる3千人超の方が会場に足を運び、式典までの短い時間ですが500人を目標としアンケートに回答いただきました。式典参加の理由としては、毎年会場入り口で友人同士楽しそうに会話してい



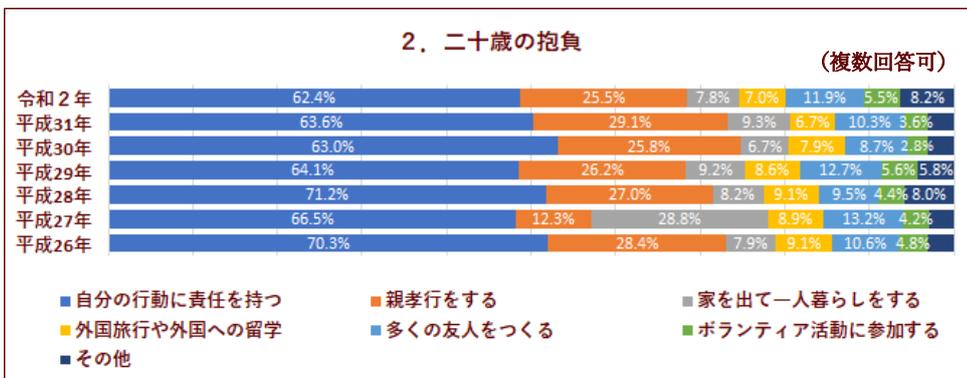
しそうに会話している様子からもわかるように、友人に会えることへの期待感が最も多くあげられています。アンケートこそ実施できませんでしたが、令和5年の「二十歳の集い」では晴れ着の姿の二十歳の皆さんと式典が行えたことに安堵しました。

※項目1・2は、複数回答を可能としています。



二十歳の抱負

「二十歳の抱負」では「自分の行動に責任を持つ」との回答が、アンケートをはじめた当初は4割程だったものが、平成26年以降の統計では回答率として6割を超え、二十歳という重みを真摯に受け止めている様子がうかがえます。



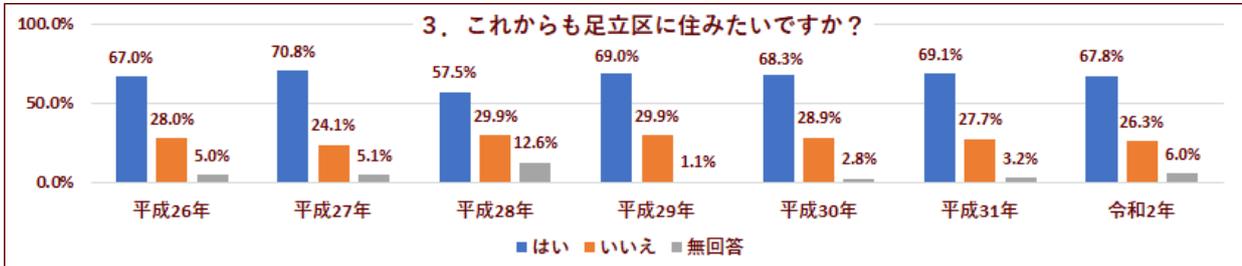
また、約2割が親孝行をすると回答してくれていることも嬉しく思います。



これからも足立区に住みたいですか？

足立区への愛着度の指標ともいえる「これから足立区に住み続けるか」という質問については、約7割の方が肯定的回答でしたが、近年の住みたい街ランキングや、大学誘致、ビューティフル・ウィンドウズ運動などの影響もあるでしょうか？

無条件に足立区が好きとの回答がある一方で、無回答も含めるとある一定数の「いいえ」の回答があるのも事実です。もっと足立区に愛着をもってもらえるような環境作りも必要ではないかと感じました。

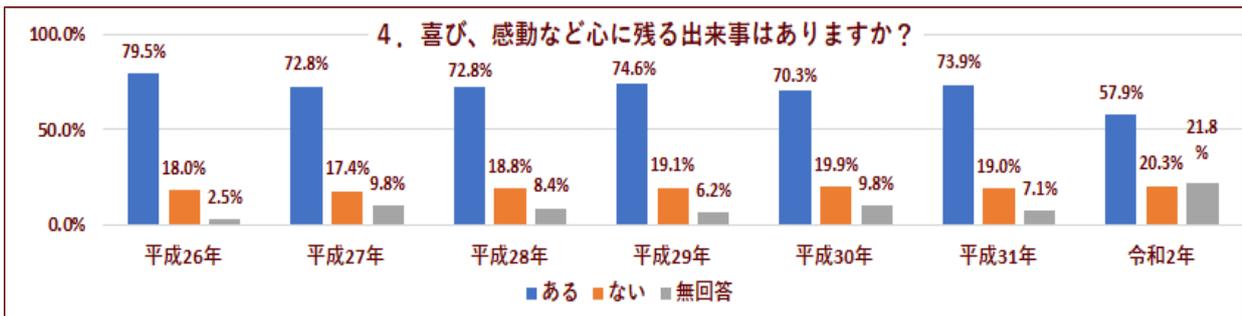


喜び、感動など心に残る出来事はありますか？

「喜び、感動」の項目では、中学・高校の部活の経験や、進学・就職などの合格などとならび、それを祝ってくれたり、励ましてくれた親や友人の存在が挙げられています。また小中学生時代に経験した東日本大震災も心に残る出来事として脳裏に焼き付いているようです。また、多くの新成人が、今回の式典への出席自体を心に残ることでととして回答してくれました。



祝二十歳の集い



最後に、「あなたの10年後」を自由記述欄に書いていただいたものをご紹介します。

将来の職業についての具体的な希望（オリンピック選手・消防士・看護師・保育士・教師・研究者・整体師など）や、職業での成功、夢の実現に向けて頑張っている姿など明るい未来が描かれていました。

人生を楽しんでいるなど個人の幸せを願うだけでなく、社会に貢献するなど他者を思いやる回答もあり輝かしい未来を彷彿させるアンケート結果となりました。コロナ禍で二十歳を迎えた皆さんもこのような感動や希望あふれた未来であるよう応援しています。



10年間の活動 ～ 歩み ～

平成26年度から令和5年度までの10年間の活動を青少年委員会だよりからたどってみました。



すべてのブロックで教育懇談会を開催



「年中行事・記念日を大切に」区役所アトリウムに飾り付け



「あだち子ども百人一首大会」の
審判員として協力



「二十歳の集い(成人の日の集い)」
の運営に協力



「あだち区民まつり」でミニSL
ウォーターコイン・1円玉アートを実施

北島一弘会長 委員 107名

平成26年度 (2014年度)

任期2年ごと会長名、委員数を記載



10月14日 足立区教育委員との懇談会
学校選択、学力向上などの意見を伺う



5月31日 区役所で開催の「地球環境フェア2014」
「あだち環境かるた2」のPRを担当



12月13日「日帰り研修会」西新井大師 法話拝聴後
子ども家庭部長講演 テーマ「少子化への取り組み」



5月27日「新任研修会」
教育長講演 テーマ「青少年委員に期待する」

平成27年度 (2015年度)



6月24日 東京未来大学 こどもみらい園を訪問取材
発達に悩みを抱える2歳から小学校6年生までの子供たちのイノベーションスクール



4月 ホームページ開設



2月7日 中学生
「東京駅伝」応援
足立区男女優勝



9月26日、27日 「宿泊研修会」 新潟県魚沼市
足立区の中学生が米作りをしている田んぼや
平成16年中越地震 山古志一帯などを視察



9月23日
「フラッグ鬼ごっこ」を足立区ス
ポーツ推進委員
会と連携して開
催

平成28年度 (2016年度)

下川佐智子会長 委員 105名



11月17日 ブロック部 第四中学校 夜間学級見学



11月16日 「子ども食堂」訪問取材



2月25日 「日帰り研修会」 鋸南自然の家施設見学
鋸南町青少年相談員、社会教育委員の皆さまとグループディスカッション





11月25日「宿泊研修会」相馬市
教育関係者と意見交換 ホッキ貝の殻むき体験

足立入谷小「朝ごはん」の
取り組みを取材



2月13日「全体研修会」区長講演
テーマ「協創力で貧困の連鎖に楔」

12月17日ブロックビーチ
ボールバレー交流大会

6月11日青少年健全育成団体
親睦ソフトボール大会初の準優勝

下川佐智子会長 委員 104名



10月30日 グランファミリア
訪問取材 (孤立を防ぐ地域交
流の場所づくり)

6月15日「新任研修会」
教育長講演 テーマ「子供
の成長と足立の教育」

9月22日「日帰り研修会」
区立日光林間学園視察



事業部 あだち区民まつり「1円玉アート」制作
毎回まつりで集まった1円玉を足立区社会福祉協議会へ贈呈



「地域環境調査」毎年各ブロックでゲームセ
ンター、ビデオレンタル店などの
実態状況を調査



12月6日 足立区ビーチボールバレー発足
30周年記念親睦大会出場

6月9日 第25回青少年健全育成団体親睦ソフトボール大会が雨天中止のためビーチボール大会を開催しました。Aチーム優勝 Bチーム4位。
青少年委員会は長い歴史の中で初優勝。

(号外発行)



7月9日足立区「居場所を兼ねた学習支援事業」4拠点のひとつアダチベースを訪問取材



10月29日「子どもの未来プラットフォーム」地縁団体との交流会に参加



11月8日 教育指導部長をお迎えし、学習指導要領改訂について勉強会を開催



11月19日タブレットを活用した授業公開参観



11月5日 外国語授業参観



11月27日「全体研修会」講師 堀江慶子アナウンサー テーマ「アナウンサーとして心がけていること」



11月10日あだち区民まつり中止のため「足立区民ふれあい計算フェスティバル」会場前にて1円玉アートを開催



2月15日「日帰り研修会」東京オリンピック施設視察



12月22日 「ブロックビーチボールバレー大会」第8ブロック優勝



令和3年10月19日
「フォローアップ研修会」
グループディスカッション



令和2年9月4日
「新任研修会」
講師 下川佐智子前会長



令和3年7月2日 「第6ブロック教育懇談会」



令和4年「成人の日の集い」に従事 午前・午後の2部制
(令和3年は会場での開催中止。「動画 de 足立」にて配信)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い様々な行事、活動が中止、縮小となりました。

コロナ禍の1年 ~新しい生活様式の中で私たちができることは~

新任研修会 定例会 役員会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日程・会場の変更、参加者の制限などの対策をとっています。

今が我慢
足立区青少年委員会会長 多島 三好

新型コロナウイルス感染症は、現在も先が見えない状況にあります。昨年の3月以降予定されていた青少年委員会の活動・行事もほとんどが中止となりました。新任委員の皆さん、何をどのように活動して行けばいいのかから不安な状態ですが、今こそ各ブロック・専門部で青少年育成活動を考える時ではないかと思われまます。学校・地域・地区対・子ども会・PTA・開かれた学校づくり協議会等々携わることが多いでしょうが、現時点ではどうにも出来ない今が、我慢・自粛なのかもしれません。2020年は、コロナ禍で制約された年となりましたが、この厳しい局面を乗り越えた先に青少年委員が笑顔で一緒に活動出来ることを楽しみにしています。

(委員会だより第69・70合併号)



11月20日「日帰り研修会」国会議事堂、そなエリア東京(防災体験施設)



6月より3年ぶりに13すべてのブロックで「教育懇談会」を開催しました。各ブロックともコロナ禍における各学校の取り組みや子供たちのマスク生活の弊害、デジタル化の加速、性の多様性に関する対応など、子供たちを取り巻く環境に沿ったテーマでした。



1月9日「二十歳の集い」に従事 成年年齢が引き下げられたことにより名称変更。午前・午後2部制



9月28日「新任研修会」教育長あいさつ後、会長講演 テーマ「青少年委員の役割と働き」 続いてグループディスカッション



令和2年度より中止となっていた「青少年健全育成団体親善ソフットボール大会」に向けて12月より練習開始



令和5年度 (2023年度)

青少年委員制度発足70周年を迎えました。
 新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行となり
 いろいろな行事、活動ができるようになりました。

6月4日 70周年記念事業 青少年健全育成団体親睦
 ソフトボール大会 準優勝



10月7、8日 あだち区民まつり「A-フェスタ2023」
 ミニSL・ウォーターコイン・1円玉アートを実施



令和5年度「ブロック教育懇談会」開催 6月～7月

第1ブロック



第2ブロック



第3ブロック



第4ブロック



第5ブロック



第6ブロック



第7ブロック



第8ブロック



第9ブロック



第10ブロック



—各ブロックの教育懇談会のテーマ—

- 第1ブロック 懇談会、各校の自慢
- 第2ブロック 生きやすさにつながる配慮とは
- 第3ブロック コロナ5類に変わった後の学校の様子
- 第4ブロック 若年者支援に向けた青少年課の役割と青少年委員の関わり
- 第5ブロック アフターコロナ・子供たちの笑顔にエール
- 第6ブロック 青少年委員と学校の関わり方
- 第7ブロック コロナ禍後の生徒の生活(教育)環境に対して学校、PTA、地域が望むこと!
- 第8ブロック 「未来の教育を支える働き方改革」～今、求められる PTA・地域社会の役割～
- 第9ブロック 地域の架け橋 青少年委員
- 第10ブロック 食から学ぶ子どもの心と体の健康
- 第11ブロック 学校自慢及び青少年委員に期待すること
- 第12ブロック コロナ禍後の学校現場が抱える課題について
- 第13ブロック コロナから通常の生活へ戻るうえでの各校の取り組み



70周年実行委員会



6月24、25日 70周年記念事業
 宿泊研修会 相馬市
 請戸小学校前(宿泊研修詳細 16~17 ページ)



11月19日 70周年記念講演会
 テーマ 「生きる」あの時を忘れない・・・
 『地震が起きたときに、どうすればいいのか』
 講師 五十嵐ひで子氏(講演会詳細 18~19 ページ)

第11ブロック



第12ブロック



第13ブロック



青少年委員会活動の紹介

青少年委員は委員会活動を通して委員同士、そして関係諸団体との連携を図り、青少年の健全育成に努めています!!



委嘱式

青少年委員の任期は2年。すべてはここから始まります。



委員会定例会

委員会運営及び各種執行内容について審議されます。



役員会

正副会長、専門部長、ブロック長による委員会執行部会です。



ひな祭り(作業中)



ひな祭り

日本の四季折々の行事の飾りつけを庁舎アトリウムへ展示。「年中行事・記念日を大切に」を旨に、児童・生徒の皆さんへ日本文化を感じていただくための活動です。



七夕



十五夜(お月見)



端午の節句



専門部会

行事に向け部会を幾度も開催真剣に討議を重ねています。



ブロック教育懇談会

ブロック単位で学校長・PTA会長、地域の方等を交えて講演・情報交換会を行っています。



鹿浜すこやかネットワーク

各ブロックにおいて特色のある健全育成イベントを開催しています。



A フェスタ(ミニSL)



A フェスタ(ウォーターコイン)

【A フェスタ】

ミニSLの運行・ウォーターコイン・1円玉アートを出店。1円玉アートでは、来場者の皆さまにご協力をいただき募金として、社会福祉協議会へ寄付させていただきます。

【成人式(現二十歳の集い)】

当日の受付・会場内整備等、運営支援を行っています。



A フェスタ(1円玉アート)



式典後 新成人の皆さんと



成人式(受付)



新任研修会



フォローアップ研修会

青少年委員会の研修は新任研修会から始まり、委員の見聞を広めるための全体研修会、日帰り、宿泊研修を行っています。

日帰り、宿泊研修は時事に合わせて地域へ足を運び、その地域の方との交流を兼ねた視察を行っています。



全体研修会(近藤区長講話)



日帰り研修会(五輪施設)



宿泊研修会(福島県相馬市)



ソフトボール大会前練習

青少年委員会は健全育成団体ソフトボール大会幹事を担っています。



ソフトボール大会

逆転勝利に応援席と一緒に喜ぶ選手。青少年委員は常に一生懸命です。



あだち子ども百人一首大会

青少年委員会では第1回の開催から審判員として運営協力を行っています。

～ 各ブロック紹介 ～

青少年委員会第1ブロック



《ブロック紹介》

第1ブロックは、千住地区の小学校6名、中学校3名で構成しています。コロナ禍を経験し、より充実した活動をめざしております。

子供たちの健全育成向上に向けて、近隣の大学との連携も視野に全力で取り組んでまいります。

豊住いずみ

2度目の周年行事に携わることになり、驚きと感謝を感じております。今後皆さまの活躍を楽しみにしております。

白井智子

活動を通して学校・地域・人との繋がりの大切さを実感しました。今後大切にしていきたいと思っております。

吉村真帆

子供たちが楽しく笑顔で過ごせるように学校と地域との繋がりがお手伝いができるよう頑張っています。

若色昭夫

これからの子供たちに何ができるかを考えながら、自分ができる範囲で活動していきたいと思っております。

稲垣まゆみ

学校と地域が一緒になり年中行事や、花壇の作業で子供たちに季節を感じてもらうことを大切に活動をしていきます。

宮崎保子

60、70周年と関われること、感謝致します。子供たちのイキイキとした明るい笑顔を見守っていきたくと思っております。

長谷川佐紀

1期目に70周年を迎えられることを光栄に思います。自分ができることを精一杯やっていますのでお願いいたします。

大原恵子

《進取・気概・誠実》を校訓とする千寿青葉中は、今年20周年を迎えました。更なる前進をめざし頑張っています。

田辺智紀

令和6年度に創立20周年を迎える千寿双葉小学校のために、地域・学校・PTAと一緒に頑張っています。

No	名前	担当校	地区対	役職	部会
1	豊住いずみ	千寿常東小学校	常東		事業部
2	白井智子	千寿桜堤中学校	常東		事業部
3	吉村真帆	千寿第八小学校	常東		研修部
4	若色昭夫	第一中学校	第三		広報部
5	稲垣まゆみ	千寿桜小学校	第三		広報部
6	宮崎保子	千寿小学校	第三	第1ブロック長	事業部
7	長谷川佐紀	千寿本町小学校	第四		研修部
8	大原恵子	千寿青葉中学校	第五	会計監事	広報部
9	田辺智紀	千寿双葉小学校	第五		広報部

～ 各ブロック紹介 ～

青少年委員会第2ブロック

《ブロック紹介》

第2ブロックは、荒川放水路が流れる江南・江北地区対から選出された5名の青少年委員で活動をしております。2017年に江北中学校と上沼田中学校が統合し、江北桜中学校となり、2022年に江北小学校と高野小学校が統合しました。新しい校舎にもなり、子供たちがのびのびと学べる環境になっていきます。



田中則聡

地域の子供たちが、様々な行事を通して私たち大人と関わり合いながら共に仕事を行い、働くことの喜びややりがい、子供たちに対して場面面に合った役割を提案していただけるような青少年委員を目指していきたいと思えます。

前田博司

江南中は今年70周年です。我が母校の節目の年に青少年委員として携えること、嬉しく思います。子供たちが笑顔で安心して安全に生活できるように、地域の皆さまと協力し務めていきます。

伊木恒人

江北小学校は令和4年に高野小学校と統合しました。子供たちも地域も一体となり新校舎での新たな歴史を積み重ねていきます。来年はいよいよ150周年を迎えます。青少年委員も精一杯頑張ります。

遠藤滋子

世界的パンデミックと言う大変な時代を経験した子供たちですが元気に頑張っている姿を見てると心が休まります。子供たちの未来のためにエールを送り続けたいです。

橋本博子

コロナウイルスの感染拡大に伴い、様々なイベントが中止となりました。中学の大事な3年間を行事もできず、校歌も歌えず、マスク姿での生活が余儀なくされました。友達と行事を通しての信頼関係などを築きあげる機会が減ってしまった。これからは、行事が行われていきます。沢山の思い出を作りたいです。子供たちの笑顔が見られることを楽しみにしています。



No	名前	担当校	地区対	役職	部会
1	田中 則 聡	宮城小学校	江南	第2ブロック長	事業部
2	前田 博 司	江南中学校	江南		広報部
3	伊木 恒 人	江北小学校	江北		研修部
4	遠藤 滋 子	扇小学校	江北		研修部
5	橋本 博 子	江北桜中学校	江北		広報部

～ 各ブロック紹介 ～

青少年委員会第3ブロック



《ブロック紹介》

第3ブロックは、興本地区対・西新井地区対から選出された8名の委員で構成されています。

任期の浅い委員もおりますが、地域・学校そして、委員会活動に真摯に取り組んでいます。これからも、子供たちの健全育成のために地域・学校と良い関係を築きながら、楽しく活動していきたいと思えます。

伊藤みちこ

子供たちの多様な環境状況が変化する今！青少年委員として何が出来るか？を考え努めていきたいと思えます。

竹田春彦

人と人とのふれあう経験を通じて子供たちが、健康で豊かな心を育て成長してより願っています。

石鍋 浩

青少年委員になつて8年、最初はPTA会長との兼任だったので大変な時もありましたが今では楽しく活動できようになりました。

高橋德行

未来ある子供たちが健全に成長し、笑顔で過ごせる環境作りを地域全体で後押しできるように協力していきたいです。

木島俊江

「人生において最も大切な時、それはいつでも今です」相田みつをの言葉です。今を大切に、子供たちを笑顔にできよう楽しみたいです。

土方紀昌

青少年委員に就任して早4年目、芋づる式に色々な組織に所属し、本当に大変ですが、足立区の子供たちのために頑張ります。

阿出川 忍

同ブロックの皆さんと力を合わせ、地域の子どもが伸び伸びと成長できるように安全な地域づくりを貢献していきます。

丸山昌子

青少年委員として何をすればいいの？から早8年。無理なくできることを楽しく、モットーに、皆さまと活動したいと思います。



No	名前	担当校	地区対	役職	部会
1	伊藤みちこ	興本小学校	興本		事業部
2	高橋德行	本木小学校	興本		事業部
3	阿出川忍	寺地小学校	興本		広報部
4	竹田春彦	第六中学校	興本		広報部
5	木島俊江	扇中学校	興本	第3ブロック長	広報部
6	丸山昌子	西新井小学校	西新井		事業部
7	石鍋浩	西新井第一小学校	西新井		研修部
8	土方紀昌	第五中学校	西新井		研修部

～ 各ブロック紹介 ～

青少年委員会第4ブロック



《ブロック紹介》

梅島駅、西新井駅を囲む小学校7校と中学校3校で構成されています。委員がそれぞれの学校支援を中心に、青少年健全育成の振興に努め、学校と地域のパイプ役やコーディネーターとしての役割を担っています。3年超のコロナ禍の歳月で得た知識や経験は多くありました。これからは私たちの生活を再建し、子供たちにより良い未来を築いていくことに集中していきたいと思えます。

瀬田哲宏

子供たちの笑顔のために、学校・PTA・地域と密に連携を取り、様々な活動を通して健全育成に携わっていききたいと思えます。

内海博子

限らない可能性を秘めた生徒たちを、将来の日本を託すことが出来る人材に育てるべく、皆さまと共に支援していきたく思えます。

塚本孝子

母校でもある栗原小学校の80周年を迎え幸せです。これからも児童からパワーをもらい、学校・PTA・地域との架け橋になります。

山本孝志

梅島小学校も祝135周年！子供たちの成長を願い不易の精神をもつて、地域の皆さまと一緒に新たなチャレンジをしたいと思います。

鈴木昌友

梅島第二小学校の児童が健康やかに学校生活を送れるよう、学校・PTA・地域がワンチームとなり活動できるように伴走してまいります。

山下亘彦

従来の活動に加え、更に積極的な活動や提案を通して、子供たちを側面から支援し子供たちの生き抜く力を育んでいきたいと思えます。

遊馬正子

ご縁とその繋がりを大事にし、子供たちの応援をします。

小嶋恵子

コロナ禍という未曾有の経験を経た子供たち、新しい時代を生きる子供たちを応援し続けます。

馬場千世

梅島第一小学校は90周年を迎えました。子供たちの笑顔と成長を励みに学校・PTA・地域と協力していきます。

大森章正

70周年を委員として迎えられ、これまでもこれから子供への未来を応援する活動に関わっていくことができ、嬉しく思います。

No	名前	担当校	地区対	役職	部会
1	瀬田 哲 宏	関原小学校	七		事業部
2	内 海 博 子	第七中学校	七		広報部
3	塚 本 孝 子	栗原小学校	西新井		事業部
4	山 本 孝 志	梅島小学校	十		事業部
5	鈴 木 昌 友	梅島第二小学校	十		広報部
6	山 下 亘 彦	亀田小学校	十		研修部
7	遊 馬 正 子	第九中学校	十	4B長・ブロック部長	広報部
8	小 嶋 恵 子	第十中学校	十一	会計監事	研修部
9	馬 場 千 世	梅島第一小学校	十一		事業部
10	大 森 章 正	島根小学校	十一		研修部

～ 各ブロック紹介 ～

青少年委員会第5ブロック

《ブロック紹介》



私たちは五反野駅を中心に小学校4校、中学校2校の青少年委員で構成され、主な活動は学校長・PTA会長との教育懇談会やブロック研修会、不健全図書パトロール等を行っています。これからも子供たちの笑顔にエールを送る活動を進めていきます。

島口里保

70周年の節目に立ち会える青少年委員として、今後も、子供たちと地域のために、自分らしく活動していきます。

三國美香

元氣よく仲良く共に励み合い話し合ったゆまゆまの弥生小学校70周年の節目に感謝を込めて：

多島三好

103名の青少年委員として私たちが活動したことを、未来の子供たちへ伝える役目があります。これからも地域・学校のために精進していきます。

櫻田芳之

2期目となり新型コロナウイルス収束以降で本来の委員活動を経験しています。地域の子供たちの未来に通じる活動を意識して努めます。

佐藤健二

多くの方々と意思疎通を図り、子供たちと地域を繋いで絆の大切さを実感し、心に潤いのある生活を実現できるように日々取り組んでいます。

前島政章

5期10年、各委員と子供たちのために楽しく活動しています。今後も地域の子供たちが躍進できるように活動をめざします。



平成28年度ブロック研修会



令和5年度教育懇談会



令和4年度ブロック研修会

No	名前	担当校	地区対	役職	部会
1	島口里保	足立小学校	中央南		事業部
2	三國美香	弥生小学校	中央南		広報部
3	多島三好	第四中学校	中央南	会長	
4	櫻田芳之	弘道小学校	弘道		研修部
5	佐藤健二	弘道第一小学校	弘道		広報部
6	前島政章	第十一中学校	弘道	第5ブロック長	広報部

～ 各ブロック紹介 ～

青少年委員会第7ブロック



《ブロック紹介》

私たちのブロックは歴代から引き継いでいる『子供たちの夢と希望の実現に向けて！』をブロックテーマとして十数年間、引き継いでおります。何故なら：教育環境を我々青少年委員が先頭に立ち築いていくことが大切だからです。また、第7ブロックのモットーは『一人はみんなの為に、みんなは一人の為に：／三銃士より』の精神を心掛けております。

西村照美

「奮励努力」
中川小学校の子供たちのため、学校のため、一つのことを懸命に、そして地域のために、より一層努力して取り組みます。

寺島恵美子

「従藍而青」
子供たちの明るい未来に翔けるために：子供一人ひとりが輝かしい未来を見つめることができ、環境づくりを私は応援しております。

三橋浩二

「一心一意」
ブロック長を引き受けた時から高い目標を設定し、メンバー全員が真剣な取り組みを意図して活

関 広太郎

「粉骨砕身」
第十二中学校の生徒のため、青少年委員としての初心を忘れずに、身を削り、全力で青少年活動に挑みます。

木村佳代

「好機到来」
またとない良い機会がめぐって、地域、学校、私たちが共に繋がっていきな

山田直美

「麻中之蓬」
児童・生徒が、より良い環境の中で教育がうけられ、まっすぐに育つよう、見守ってまいります。

白井純子

「一喜一憂」
北東で川内、まなびの地を学ばせて、ちがいで守り、域で見守り、者で素敵な者、嬉しうです。

菊地 聡

「雲外蒼天」
コロナ禍で地域活動が制限され、ようやく始動させるが、とても困難な道のりとなるだろう！しかし先々、私たちが信じている。



No	名前	担当校	地区対	役職	部会
1	西村照美	中川小学校	佐野		広報部
2	寺島恵美子	中川東小学校	佐野		広報部
3	三橋浩二	中川北小学校	佐野	第7ブロック長	研修部
4	関 広太郎	第十二中学校	佐野		広報部
5	木村佳代	谷中中学校	佐野	会計	事業部
6	山田直美	辰沼小学校	神明	副会長	
7	白井純子	六木小学校	神明		事業部
8	菊地 聡	第十三中学校	神明		研修部

～ 各ブロック紹介 ～

青少年委員会第8ブロック

《ブロック紹介》



第8ブロックは、つくばエクスプレス線六町駅と青井駅、区役所本庁舎、平野グラウンドといった施設がある、環七を中心として南北に開かれた中央地区対と保塚地区対の地域です。私たちは、学校・PTA・地域との情報共有を大切にし、問題解決に向けて一緒に考えていけるよう、常にコミュニケーションを図っていききたいと考えています。

染谷高志

青井小学校担当として、学校をはじめPTAや各町会・自治会他、青少年対策委員と連携して、地域の皆さまと協力して活動してまいります。

小野明

青井中学校担当として、保護者や児童から見て環境の良い学校作りを、学校・PTA・地域との連携を図り取り組んでいきます。

本田隆志

学校・PTA・地域の方々と協力して、栗島中学校の生徒一人ひとりが元気に活動できるようにしてまいります。

杉村吉紀

加平小学校の担当として、学校・PTA・地域の皆さまと協力して活動してまいります。

澁谷義光

栗島小学校担当として地域や町会などと連携して貢献していきたいと思っております。

嶋田健一

学校・PTA・地域の方々と連携を図り、東栗原小学校の児童が共に、そして自分らしく歩める環境づくりを努めてまいります。

鈴木奏子

子供たちの可能性を引き出すような環境づくりのお手伝いができると協力したいと思います。ありがとうございます。

米永博

この70周年の歴史の重みを感じつつ、さらに青少年委員活動の内容充実に向けて進んでまいりたいと思っております。



No	名前	担当校	地区対	役職	部会
1	染谷高志	青井小学校	中央		広報部
2	小野明	青井中学校	中央		研修部
3	本田隆志	栗島中学校	中央		事業部
4	杉村吉紀	加平小学校	保塚		研修部
5	澁谷義光	栗島小学校	中央		事業部
6	嶋田健一	東栗原小学校	保塚	副会長	
7	鈴木奏子	平野小学校	保塚	第8ブロック長	研修部
8	米永博	東島根中学校	保塚		広報部

～ 各ブロック紹介 ～

青少年委員会第9ブロック



《ブロック紹介》

『花』のつく学校が8校集まった花の第9ブロックと呼ばれている地域です。学校と連携を取りながら、子供たちの笑顔を見守り、個人活動・ブロック活動をしております。コロナ禍で動きが止まっていましたが、ブロックの8名が学校、地域とのパイプ役となり、これからも子供たちの未来を明るく導きたいと思えます。

森 由美

花畑小学校の子供たちが健康やかに過ごせるように学校・PTA・地域で連携して、笑顔の花畑を作っていきたいと思えます。

中里史朗

『こころはひとつ』を合言葉に、花保小では学校・PTA・地域で子供たちを見守り、育てています。各団体の繋ぎ役として寄り添っていきます。

眞田敏子

『明日へ輝け！花保の光』進化・前進する学校、生徒たちを地域・PTA・保護者と共に寄り添って応援します。

生井由美

『花畑第一、子供が第一』の心情を携え学校・PTA・地域の皆さまと進んでいきます。安心安全な地域の継続に努めてまいります。

古川美奈子

『花西愛』母校でもある花畑西小学校。花西つ子を愛するPTA・地域・学校の皆さまと共に花西つ子の笑顔のために協創してまいります。

上田美根

担当学校並びにブロック学校をみんなで見守り、これからも応援していきます。

村上広太郎

子供たちの笑顔が見える、がんばる先生方の顔が見える、それらを見守る地域の人の顔が見える、そんな繋がりを続けたいです。

芦川珠美

PTAから始まり、青少年委員は10期目。子供たちが主役となる学校と地域の架け橋として私には何ができるかを常に考え活動してききました。これからもその気持ちをお忘れずに。



No	名前	担当校	地区対	役職	部会
1	森 由美	花畑小学校	保塚		事業部
2	中里史朗	花保小学校	保塚		広報部
3	眞田敏子	花保中学校	保塚	第9ブロック長	研修部
4	生井由美	花畑第一小学校	花畑		広報部
5	古川美奈子	花畑西小学校	花畑		研修部
6	上田美根	花畑中学校	花畑		研修部
7	村上広太郎	花畑北中学校	花畑		事業部
8	芦川珠美	桜花小学校	花畑	副会長	

～ 各ブロック紹介 ～

青少年委員会第10ブロック



《ブロック紹介》

第10ブロックではどんな時でも子供たちの為に何が出来るかを心において青少年委員としての役割を担っています。

今、竹ノ塚駅の鉄道高架化にともない「まちづくりラボ・プロジェクト」が進んでいます。「ひとが主役のまち」は「未来の主役は子供たち」でもあります。微力ではありますが、私たちの活動が少しでも子供たちの力になれるように頑張っていきたいと思えます。

武田伸一

中島根小は今年節目の50周年です。これからも未来ある子供たちのためにチーム中島根として活動していきます。

芦川雅良

青少年委員の本意、地域と学校、行政のつながり役割を果たすことこそが子供たちに良い未来を作る助けになると信じています。

大西るり子

子供たちの未来へとつながる「今」を大事と考え、学校・PTA・地域と連携し活動していきたいと思えます。

高橋美由紀

未来ある子供たちの「今の声」に答えられる大人でありたいと誓い、渚江第一小学校の青少年委員として邁進してまいります。

吉田雅子

これからの時代、子供たちが将来を夢みて希望を持ち、力を発揮できる環境づくりに助力したいと思えます。

橋本美津江

子供たちの明るい未来のために、これからも学校・PTAの皆さんや地域の方と協力して活動していきたいです。

小林理恵子

未来を担う子供たちが笑顔で元気に過ごせるように第三者の大人の立ち位置で見守っていきたいです。

吉田弓子

子供たちが安全で安心した学校生活を送れるよう、これからも学校と協力し地域と共に見守っていききたいと思えます。

人見真吾

混沌とした世の中ですが、子供たちが夢や希望を持って生き活きと生きていけるようにならなければ人が応援していきたくありません。

No	名前	担当校	地区対	役職	部会
1	武田伸一	中島根小学校	十一		事業部
2	芦川雅良	六月中学校	竹の塚		事業部
3	大西るり子	渚江小学校	竹の塚	副会長	
4	高橋美由紀	渚江第一小学校	竹の塚		広報部
5	吉田雅子	渚江中学校	竹の塚	広報部長	広報部
6	橋本美津江	西保木間小学校	竹の塚		研修部
7	小林理恵子	竹の塚中学校	竹の塚	第10ブロック長	研修部
8	吉田弓子	保木間小学校	竹の塚		広報部
9	人見真吾	竹の塚小学校	竹の塚		研修部

～ 各ブロック紹介 ～

青少年委員会第11ブロック



《ブロック紹介》

第11ブロックは西新井大師の北から毛長川手前の西新井、伊興両地区対から選出された8名の委員で構成されています。他の青少年健全育成団体と協働し、各委員個人の活動を柱に、委員同士が協力連携して、地域・学校間の橋渡しに努めています。常に子供たちの目線に立って動くことを意識しつつ、当ブロックの気風である和気藹々とした雰囲気の中、青少年委員活動を楽しく行っています。

森岡裕子

子供たちのために、いつもご尽力いただいている学校、地域、PTAの3本から成り立つ1本の太い柱を、大切に守っていかうと思えます。

島田香菜子

西新井中学校の未来のために、学校、PTA、地域の方々との協力しあいながら、微力ながらも子供たちの為に地域に貢献してまいります。

佐藤正浩

創立50周年の節目を経た学校、PTA並びに地域との連携を通して、地域の輝かしさを向かい合わせの成長を促すべく努めます。

佐々木 勝

東伊興の地域には多くの町会が存在しており、子供たちを見守っています。地域をつなぐ存在になれるよう、行事に参加させていただきます。

鈴島健司

学校と地域と連携し、青少年の健全な育成のために、微力ながらも貢献できるように邁進してまいります。また防犯活動にも力を入れています。

島上有紀

歴代のPTA会長さんをはじめ、地域の皆さまの熱い愛と地域愛をひしひしと感じています。微力ながら、子供たちのために尽力します。

磯 洋一

70年の歴史の重みを肝に銘じつつ、共に活動を支えてくれるブロック委員に感謝しながら、青少年委員としての職責を全うしたいと思います。

酒井 廣

学校と地域のパイプ役として、子供たちの未来に、微力ながらも貢献できる立場にあることに感謝して、これから青少年委員の職務を遂行します。



No	名前	担当校	地区対	役職	部会
1	森岡裕子	西新井第二小学校	西新井		広報部
2	島田香菜子	西新井中学校	西新井		事業部
3	佐藤正浩	西伊興小学校	伊興		事業部
4	佐々木 勝	東伊興小学校	伊興		事業部
5	鈴島健司	栗原北小学校	伊興		研修部
6	島上有紀	第十四中学校	伊興		研修部
7	磯 洋一	伊興小学校	伊興	第11ブロック長	研修部
8	酒井 廣	伊興中学校	伊興		広報部

～ 各ブロック紹介 ～

青少年委員会第12ブロック



《ブロック紹介》

第12ブロックは、荒川が間に流れる新田・鹿浜地区対から選出された9名の青少年委員で活動をしており、主な特長あるブロック活動行事は、毎年設定したテーマに基づき、小中学校の児童・生徒の代表者が意見発表を行う「鹿浜すこやかネットワーク」や、フルーツ狩りと併せ、名所旧跡などを巡るブロック研修会などを実施しております。なお、新田学園は、足立区2番目の小中一貫校であります。

横山良和

青少年委員や地域の皆さんとの出会い、思い出はかけがえのない財産です。青少年委員会の益々のご隆盛を祈念しております。

原田 勉

鹿浜第一小学校が、保護者や児童から愛され選ばれる学校となるよう、学校・PTA・地域と密な連携の図れる施策に取り組んでまいります。

渡邊淳子

これまで青少年委員として学んだ多くのことや経験を活かし、今後とも子供たちの健全育成のために、お役に立てるよう頑張っております。

高橋 進

青少年委員として、児童・生徒、学校・PTAや地域のために少しでもお役に立てるよう頑張ります。

浅香一浩

60周年、70周年と会計として携わることとなり良い思い出ができました。今後子供たちの健全育成のお役に立てるよう精進いたします。

松崎顕治

「足立の子どもたちの健全やかな成長を少しでも支えることができたら嬉しい」という思いで今後も活動してまいります。

太田安昭

コロナ禍もあり、まだまだ分らないことばかりですが、PTA会長の経験を活かし、先輩方を見習って頑張りたいと思います。

倉持智光

青少年委員として3期目、地域・学校・PTAの方々と共に地域の子どもたちの発展にこれからも貢献してまいります。

諏訪法和

私は、青少年委員としてこれから子供たちと健全に成長できるよう見守り、学校・地域のサポート役として活動してまいります。

No	名前	担当校	地区対	役職	部会
1	横山良和	鹿浜五色桜小学校	鹿浜		研修部
2	原田 勉	鹿浜第一小学校	鹿浜	副会長	
3	渡邊 淳子	鹿浜未来小学校	鹿浜	事業部長	事業部
4	高橋 進	鹿浜未来小学校	鹿浜		事業部
5	浅香 一浩	皿沼小学校	鹿浜	第12ブロック長	広報部
6	松崎 顕治	鹿浜菜の花中学校	鹿浜	副会長	
7	太田 安昭	加賀中学校	鹿浜		広報部
8	倉持 智光	新田学園・新田小学校	新田		研修部
9	諏訪 法和	新田学園・新田中学校	新田		広報部

～ 各ブロック紹介 ～

青少年委員会第13ブロック

《ブロック紹介》

第13ブロックは、6名の委員で構成されており、比較的に任期の浅い委員が多いブロックですが、任期の長い委員のリーダーシップのもと、地域の学校や青少年団体と連携し、青少年の健全育成のために皆で協力しながら活動しております。



塚本京子

これからも子供たち・地域・学校と一緒に身近に繋がれるように、楽しく活動をしていきたいと思っています。

清野美貴

青少年委員として、学校・地域・PTAの方々と共に、子供たちの健全育成に繋がる活動をしてまいります。

前田典彦

青少年委員として地域と学校と連携をしながら子供たちの健やかな成長ができるように活動してまいります。

若山克彦

70周年の年に携われることを嬉しく思います。また、これからも子供たちの健全育成のために活動してまいります。

小田川利幸

60周年から70周年、節目となる年に経験できて感無量です。子供たちのためにできることを学校、地域に携わってまいります。



板越由希子

地域・学校と連携を図りながら、子供たちの健全育成に繋がる活動に取り組みます。また、子供たちのお手本となる大人であるよう自身も日々成長していきたいと思います。



雨上がり



晩秋

No	名前	担当校	地区対	役職	部会
1	塚本京子	舎人小学校	舎人	第13ブロック長	研修部
2	清野美貴	足立入谷小学校	舎人		広報部
3	前田典彦	古千谷小学校	舎人		広報部
4	若山克彦	入谷中学校	舎人		事業部
5	小田川利幸	舎人第一小学校	舎人		研修部
6	板越由希子	入谷南中学校	舎人		事業部

正副会長会

正副会長会は、会長1名・副会長6名の計7名で構成されており、青少年委員会のビジョンと目標の設定や活動の方針等を策定のうえ、各種イベントの計画と運営に関与し、要望や課題に対してのアドバイスやサポート等を行っております。

正副会長会の日常の活動としては、役員会・定例会の30分前から「正副会長会」を開催し、当日の会議の議事進行を確認のうえ、議題に関する意見交換や意思決定等を行う他、専門部や特別委員会の進捗状況の確認や各ブロック活動のサポート等を行っております。また、必要に応じて臨時的に「正副会長会」を開催し、青少年委員会の中長期的な戦略や方針を策定のうえ、将来的な目標や成果に向けた計画を練り、青少年委員会が更なる発展と活躍ができるよう促進を図っております。

会長 多島三好

副会長 山田直美 ブロック部・研修部担当

” 嶋田健一 事業部・広報部担当

” 芦川珠美 ブロック部・事業部担当

” 大西るり子 研修部・広報部担当

” 原田 勉 ブロック部・広報部担当

” 松崎顕治 事業部・研修部担当

令和4・5年度

足立区青少年委員会活動方針

『学校と地域の活性化と連携』

新型コロナウイルス（オミクロン株）感染症拡大防止のため、緊急事態宣言発令に引き続き、新生活様式への移行等の影響から、青少年委員会活動も足踏み状態になっておりますが、新しい一步を踏み出すために、個人個人が、地域活動や学校行事などに積極的に参加して自ら見て・触れていただくことと、いろいろなことが分かることと思えます。苦難の時ではありますが、あだちの子供たちの健全育成のために、左記のことを踏まえ青少年委員会活動を精力的に進めていきます。

- 一、地域支援活動
- 二、学校支援活動
- 三、社会情勢に即した青少年の健全育成への貢献・家庭教育の推進
- 四、青少年委員としての資質向上
- 五、青少年委員会組織の更なる強化
- 六、情報の発信
- 七、足立区教育委員会との連携

青少年委員の役割

- ・地域の青少年団体相互の連絡調整をします。
- ・青少年リーダーを養成し、青少年活動を応援しています。
- ・青少年団体の運営・活動内容等について相談・指導をしています。
- ・地域の青少年活動を発展させ、環境整備に努めています。
- ・開かれた学校づくり協議会に協力しています。
- ・放課後子ども教室の運営に協力しています。



ブロック部会

ブロック部は、平成22年に各ブロックの意見、考えを青少年委員会活動に反映させるために発足した部です。各ブロックのブロック長13名で構成され、役員会等で提案や審議された事案を各委員にもれなく伝達し、それぞれのブロックで審議し、青少年委員が全員で一つにまとまり健全育成に携われるように活動しております。そのためブロック部会議も開催し、終了後には時間をかけて懇親も深めます。また全ブロックで開催される教育懇談会に他ブロックのブロック長が参加し、お互いに参考になるものを所属のブロックに持ち帰り、ブロック部においても情報交換を行い内容を共有します。ブロック長は、自分のブロックのまとめ役を担い、そのほかにも事業部、研修部、広報部に所属し、委員の模範となれるよう努力し頑張っております。そんな忙しく活動する中で委員の親睦を目的とした事業も企画します。ブロック対抗ビーチボール大会、ボウリング大会等を開催してきました。委員の意外な一面を発見できる機会にもなっております。この3年余りコロナという未曾有の災禍に子供たちの生活や教育環境も激変しました。子供たち一人ひとりの笑顔を取り戻すためにより一層目を向け寄り添った活動を全ブロックが模索しながら進めてまいります。



- 第1 ブロック長 宮崎保子
- 第2 ブロック長 田中則聡
- 第3 ブロック長 木島俊江
- 第4 ブロック長 遊馬正子
- 第5 ブロック長 前島政章
- 第6 ブロック長 関本義則
- 第7 ブロック長 三橋浩二
- 第8 ブロック長 鈴木奏子
- 第9 ブロック長 眞田敏子
- 第10 ブロック長 小林理恵子
- 第11 ブロック長 磯 洋一
- 第12 ブロック長 浅香一浩
- 第13 ブロック長 塚本京子



事業部

事業部は、年間を通してのテーマを『年中行事・記念日を大切に』と設定して活動しております。このため、季節の移り変わりや日本文化の一端を児童・生徒の皆さんに感じていただく活動として、足立区本庁舎アトリウムへ、端午の節句・七夕飾り・お月見飾り・雛人形の各飾り付けの展示を行い、各礼節のポスターを製作し、各区立小中学校に掲示して頂いております。なお、この活動は、青少年委員会が年度始めに行う「カレンダー作成事業」に基づいた事業でもあります。

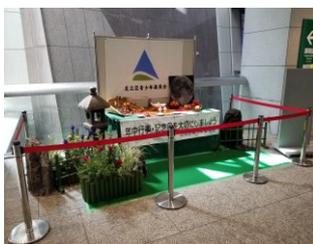
また、毎年6月に開催される「健全育成団体親睦ソフトボール大会」では、各団体の皆様のご協力を得て開催することにより、各団体との親睦を深め、青少年の健全育成に役立つ関係の構築を積み重ねております。

更には、毎年10月に開催される『あだちまつり』（Aフェスタ）の参加準備等においては、毎年4月から始まるAフェスタ打合せ会議へ参加させていただき、参加団体の皆さんとの約半年間に亘る会議を積み重ねることにより、友好関係を深めております。

このような活動を積み重ねることで、青少年委員会の活動を対外的にもアピールしていくことが、事業部としての大切な活動だと考えております。

《主な年間活動》

端午の節句展示	4	5	月
親睦ソフトボール大会	6	月	
七夕飾り展示	6	7	月
お月見飾り展示	9	10	月
雛人形展示	2	3	月



研修部

研修部は任期2カ年事業活動として年間の部会を5〜6回開催し、年間行事計画予定を元に活動しております。

初年度には、新任の青少年委員の心得となる研修会を開催しております。「青少年委員とは」の講演を聞いて、グループディスカッション形式で先輩青少年委員の方々と交流しながら学ぶ新任研修会になります。

2年目には新任委員のフォローアップ研修会の開催をしています。1年が経過した上で更なるレベルアップや疑問や悩みの解消を目指した研修になります。

日帰り研修会はその時の旬な場所を訪問し、各地域での交流と情報交換をしております。近年では開催前の東京オリンピックの施設や国会議事堂などに行っております。2年目は宿泊研修会を開催しております。場所については主に足立区と関連がある場所や子供たちが利用する宿泊施設などに行っております。

全体研修会は青少年委員全員参加で教育・環境・活動などの講演を講師の方をお招きして開催しております。

青少年委員としての活動に活かせるように各委員が地域と学校との橋渡しの手助けができる研修会を開催していけるよう活動できればと思います。

《主な年間活動》

部会 年間5〜6回
新任研修・フォローアップ研修
日帰り・宿泊研修会
全体研修会



広報部

広報部の先輩が残した「広報紙は自分の足で取材し記事を書く」をモットーに、アンテナを張り情報収集を重ね、東京未来大学子どもみらい園や教育長、子ども食堂、授業公開の参観など多分野にわたり取材を続けてきました。

活動の内容や委員の想いを伝えられるように、読みやすい紙面作りの基本を学ぶため研修も実施しました。また、平成25年に青少年委員会のホームページを作成し、開設しました。年2回発行している青少年委員会だより「あだち」では伝えきれない委員会やブロックの活動情報をできるだけタイムリーに報告できるようにしています。

しかしながら、新型コロナウイルスの猛威により活動の自粛を余儀なくされ、委員会だよりも縮小せざるを得なくなりました。二十歳の集い(旧成人の日の集い)では華やかな参加者の中に混じり実施したアンケート調査も中止になり、2年間は「あだち」の発行が年1回とカレンダーの発行のみとなり我慢の期間でしたが、広報活動を見直すとても良い機会となりました。

この10年を振り返り、原点となる「取材し記事を書く」ことを念頭に置いて、多くの皆さんに興味を持っていただける紙面づくりを目指して、これからも積極的に活動していきたいと思えます。

《主な年間活動》

青少年委員会だより「あだち」特別号発行
 青少年委員会だより「あだち」年2回発行
 カレンダー製作(各校への配布)
 二十歳の集い アンケート調査
 取材及び研修
 ホームページ作成



歴代青少年委員名簿〔小学校1〕

1987	1986	1985	1984	1983	1982	1981	1980	1979	1978	1977	1976	1975	1974	1973	1972	1971	1970	1969	1968	1967	1966	1965	1964	1963	1962	1961	1960	1959	1958	1957	1956	1955	1954	1953	旧学校名	学校名	B			
S62	S61	S60	S59	S58	S57	S56	S55	S54	S53	S52	S51	S50	S49	S48	S47	S46	S45	S44	S43	S42	S41	S40	S39	S38	S37	S36	S35	S34	S33	S32	S31	S30	S29	S28						
長谷正治		渡辺敏夫			粉川正義			水野了雅			朽木実			近藤邦雄			渡辺貞治			千寿第一	千寿本町	1																		
倉持利正		鈴木祥夫			石原録郎			大塚達昌			石原録郎			青木康夫			鈴木昭三			秋山銀蔵			石塚栄一			大野邦夫			藤田熊雄			千寿	千寿	1						
菊島新吾		石原正久			横田忠克			飯島弘			梅田秀雄			島崎昭嘉			箕田省吾			島崎昭嘉			鈴木義猛			千寿	千寿	1												
下川又三														瀬山豊治			高谷正雄			千寿第二																				
関武男		宮入貞雄			西尾隆司			肥後靖夫			市川克己			西尾隆司			宮入五郎			千寿第三	千寿双葉	1																		
倉本三郎		平岡徳朗			青鹿市子			三島敏太郎			中郷博																													
三角政四郎		吉田三郎																		千寿第四	千寿常東	1																		
出口正雄		成嶋君松															江口文男			柳原																				
橋本一幸		片野清															高井清子			千寿第六	千寿桜	1																		
木辺栄一郎																	中島忠雄			千寿第七																				
高橋潔子																	高野衛一			千寿第八																				
宇田川功		脇島財次郎			工藤兼嗣			小宮七朗			村山惣兵			阿出川信孝			峰定雄			宮城																				
篠田昭		中村松雄			植村孝			植村孝			竹内元治			白倉サト			阿出川守二			江北																				
梶和一								中村元雄			中島徳二			竹内元治						高野																				
清水源四		中村元雄																		扇																				
浅野薫		武井秀夫			中辻康子			水巻真一			蓮沼哲司			小貝仁三雄			大谷及勝			興本扇学園 興本																				
瀬田和夫		小林孝明																		本木	本木	3																		
熊川英雄		片岡辰次郎																		本木東																				
赤城敏之		川名松之助			大浦豊司												藤田長四郎			寺地																				
貴川茂子		伊藤勝枝												大谷及勝			斉藤新作			西新井																				
松田宏昭		清水正雄			江川作次郎			中村富之助			石田勝三			鳥海里ん						西新井第一																				
海老原省三		加藤三六			古屋勝章												川口うえの			関原																				
関谷光司		塚本桂三			中妻久			伊藤 関谷正春			市沢福司			堤みや						栗原																				
渡辺彦吉		鶴見義孝			時山政昭												佐々木正道			石井隆雄	時山政昭	梅島																		
瀬田良雄								折原忠義			中島福太郎			稲垣昭			茂沢清太郎			梅島第二																				
山崎園雄								井上三吉			高井敏雄			寺島梅太郎			飯田勇			黒田清	飯田勇	亀田																		
山崎金寿		浅古精一郎			滝井正彦															梅島第一																				
荒堀武臣		林勝美			望月賢一			鈴木基次			板谷等			斎藤昇			滝井正彦			島根																				
上野登								木下正一			磯部博史			浅野三郎			大谷秀夫			十文字徹			渡辺章	千寿第五	足立	5														
水崎潔																	長谷川良之助			田中春雄			五反野																	
遠山理一								天野義熊			小島貞			森幸蔵			金子俊一			上杉竹男			武田孝	弥生																
鳥之海丈之助								大室勇一			三瓶ふく			山本ふみ			東風谷良治			岡田正関			島海源次			弘道														
長谷川初江		建部直二			近藤絹子			磯野馥			水沢多鶴			戸塚高保			鶴岡友之助						弘道第一																	
岡田憲二								相原喜三郎			石出吉蔵			松岡佐智子			岡田正関			綾瀬																				
山野栄治		伊藤啓一																		東加平																				
弓削功		岡田政雄			吉野誠三			伊藤国雄			吉越光雄			山梨敏克			大越静枝			白木つや子			横田修六			東洲江														
増田啓		森田勝未			古性正己			玉本英雄			河合平内			太田富美子			西沢いと			北三谷																				
矢作秀夫		石黒喜久枝			古性正己															東綾瀬																				
木野内まち子		引田とみ			羽住きみ子															大谷田																				
羽住爽恵		羽住きみ子			下島浩															長門																				

B	学校名	旧学校名	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997	1996	1995	1994	1993	1992	1991	1990	1989	1988									
			R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14	H13	H12	H11	H10	H9	H8	H7	H6	H5	H4	H3	H2	H1	S63									
1	千寿本町	千寿第一 千寿旭	長谷川左紀	今井しづ江										坂本恭正					沼尻哲男					倉持利正					坂本俊明																		
1	千寿	千寿 千寿第二	宮崎保子										黒川耕次					菊島新吾					高橋祐次					下川又三																			
1	千寿双葉	千寿第三 元宿	田辺智紀					吉川和宏					定田規子					北島一弘					松本捷三					山崎博子					関 武男					渡邊美代子					倉本三郎				
1	千寿常東	千寿第四 柳原	豊住いづみ										関ひとみ					川島高明					出口正雄																								
1	千寿桜	千寿第六 千寿第七	稲垣まゆみ					中屋房一					西郡正和					山崎博子					橋本一幸																								
1	千寿第八		吉村真帆					米持昭治					井江利久																																		
2	宮城		田中則聡					下川佐智子					鈴木一男																																		
2	江北	江北 高野	伊木恒人					矢口悦道					篠田 昭																																		
2	扇		遠藤滋子					三浦美智子					大浦 輝					清水源四																													
3	興本扇学園興本		伊藤みちこ					高橋真佐子					三浦紀子					中川健治郎																													
3	本木	本木 本木東	高橋德行					田中実					桐山貞久					浅見唯夫																													
3	寺地		阿出川忍					坂本 守					竹田春彦					桑原勉					井田誠二					赤城敏之																			
3	西新井		丸山昌子					吉岡成子					寺澤紀子					實川茂子																													
3	西新井第一		石鍋 浩					江川彰一					江川 隆					篠原弘治					松田宏昭																								
4	関原		瀬田哲宏					川下勝利					小張悦子					野口邦明					渡邊義勝					海老原省三																			
4	栗原		塚本孝子										星野敏男					関谷光司																													
4	梅島		山本孝志					小林功一					松本一郎					渡辺彦吉																													
4	梅島第二		鈴木昌友					吉田誠一					鈴木秀岳					加藤保子																													
4	亀田		山下亘彦					小山克彦					飯塚佳正					小林憲一					山壽園雄																								
4	梅島第一		馬場千世					田平孝彦					櫻井要一郎					戸田耕太郎					山崎金寿																								
4	島根	大森 重正	高橋佑介					石鍋明光					金杉栄子					相馬誠					荒堀武臣																								
5	足立	千寿第五 五反野	島口里保					吉澤正幸					石井英太郎					井戸沼嘉十					板垣壽春																								
5	弥生		三國美香					小沼久美子					伊藤牧子					笠島洋吉					遠山理一																								
5	弘道		櫻田芳之					砂田健二					小林勝一					細谷裕子					仲野剛史					鳥之海丈之助																			
5	弘道第一		佐藤健二					大林英夫					久保木千恵子					長谷川初江																													
6	綾瀬		関本義則					足立義之					佐山浄徳					長谷川良典					仙波健雄					岡田憲二																			
6	東加平		伊藤 徹					佐藤文孝					横井 厚					伊藤公司					伊藤 敢					山野栄治																			
6	東洲江		天野倉典子					岡村佳子					坂井一枝					塚越伸博					百瀬香代子					小川 勇					弓削 功														
6	北三谷		田島勇希雄					辻 直幸					菱沼政弘					峯岸道隆					林千尋					四宮友彬					増田 啓														
6	東綾瀬		高橋将郎										古性 哲					倉本文寛					山崎利夫					矢作秀夫																			
6	大谷田		三枝孝次					石川浩司					三枝孝次					下島利代					小久保隆					木野内まち子																			
6	長門		早川邦夫					寺元恵美子					下島利代					下島泰則					畠山信弘					羽住爽恵																			

歴代青少年委員名簿〔小学校2〕

1987	1986	1985	1984	1983	1982	1981	1980	1979	1978	1977	1976	1975	1974	1973	1972	1971	1970	1969	1968	1967	1966	1965	1964	1963	1962	1961	1960	1959	1958	1957	1956	1955	1954	1953	旧学校名	学校名	B				
S62	S61	S60	S59	S58	S57	S56	S55	S54	S53	S52	S51	S50	S49	S48	S47	S46	S45	S44	S43	S42	S41	S40	S39	S38	S37	S36	S35	S34	S33	S32	S31	S30	S29	S28							
阿部尚子		石井喜八郎			金子良一				関根真教										横田修六		永沢千代			羽住きみ子												中川	7				
牧野貞子		金子良一																																		中川東	7				
川田 喬		宇佐美勘次				北島勝男				向井晃																						中川北	7								
小林文次		中村一元																																		辰沼	7				
佐野美智子		浅川十三		金杉光秋																																六木	7				
小滝英治		大関真一郎																																		青井	8				
伊藤晴康		石鍋金松				石川義雄				原口弘																						加平	8								
大熊康好		永瀬正吉		堀口勝		柴山道明		小倉清		鴨下多吉		上田邦雄		矢口義彦		花井健吉													栗島	8											
横松 賦		加藤信男				鈴木新八																																		東栗原	8
寺山克巳		吉田俊二		当麻隆康																																平野	8				
大島詳三		金杉光秋				稲垣豊				加藤等		小宮友一												花畑	9																
大島重信		中渡誠		大越治助		種藤昇																						花保	9												
小林美貴子		佐久間和夫				青木隆		遠山長治		宮田嘉一												花畑第一	9																		
尾方秀基		長島一																								花畑西	9														
別府晋作		門山紀雄		高城洋子		野口芳夫		服部嘉助												花畑東	桜花	9																			
小田秋蔵																																桑袋									
馬場英雄		萩原延男		柿田元吉		市橋和男																						中島根	10												
加藤 寛		須賀今朝男				谷古宇巧一				嶋田一郎		西村秀雄												浏江	10																
石鍋賢治		吉岡 宏																																		浏江第一	10				
長柄義巳		中神 勉		秋葉一三		下口利智子		須賀忠一		長谷川雅男		海野幸之助												浏江第二	西保木間	10															
須賀忠一																																竹の塚北									
芦川直實		本間静江														石鍋源一郎												保木間	10												
古庄孝夫		小山幸枝																																		竹の塚	10				
山本祥一		斎藤収夫		峯 昭		吉川栄子		井坂すみ江		清水種三郎														西新井第二	11																
水戸部あぐり												内田一也																						西伊興	11						
塚原正子		今井昭生		横田正之		吉成安男		小林啓三		鯨井博												東伊興	11																		
須田文子		甘利 高		小宮吉郎		梶形多津江																						栗原北	11												
小川倉造		松原清子				藤波正寿		小川清吉		水越長治														伊興	11																
河南茂二		斎藤鉄太郎				矢萩良隆				市川勘一		矢萩一好		小宮正七		小林美由紀												鹿浜	鹿浜五色塚	12											
水戸定雄		阿出川辰次		浅香秀高				浅香寿平																						上沼田											
小宮朝雄		浅香寿平				浅香秀高		矢萩良隆																						鹿浜第一	12										
矢萩良隆																																鹿浜西	鹿浜	12							
篠田芳信		横田梅吉																																		北鹿浜	未来	12			
鈴木彬夫		横田文男																																皿沼	12						
茂出木久義		佐々木伸				茂出木金兵衛																						新田学園新田	12												
粕谷恒雄		上村利雄		斎藤 亘				弘田晋也		小金井俊輔		山本己之吉												舎人	13																
江崎 昭		市川 清																								入谷	足立	13													
渡辺義光		市川清																								入谷南	入谷	13													
小金井専一																																古千谷	13								
野村听																																舎人第一	13								

B	学校名	旧学校名	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997	1996	1995	1994	1993	1992	1991	1990	1989	1988				
			R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14	H13	H12	H11	H10	H9	H8	H7	H6	H5	H4	H3	H2	H1	S63				
7	中川	西村照美	岡本勝利		田澤信行										小林エミ子																											
7	中川東	寺島恵美子	金子一										鈴木敏江					小久保澄子					清水千鶴																			
7	中川北	三橋浩二					小林保彦					石上昌弘					川田 喬																									
7	辰沼	山田直美										堀井洋二										根岸 浩					小林文次															
7	六木	白井純子										佐野美智子																														
8	青井	染谷高志					小宮邦夫					関根裕子					吉武史洋					田沼玲子					清水康行					小滝英治										
8	加平	杉村吉紀										種部一実					伊藤定雄					島藤良子					山形貴則					伊藤嘉章					伊藤晴康					
8	栗島	澁谷義光										日比谷靖一					武居英一					平田丈雄					大熊康好															
8	東栗原	嶋田健一										金井恵子					浅賀 武					横松 賦					鈴木進															
8	平野	鈴木奏子										鴨下正					渡辺広光					日比谷三郎					寺山克巳															
9	花畑	森 由美					後藤吉太郎					小宮康行					高橋史枝					大山光子					大島重信					大島詳三										
9	花保	中里史朗										辻村宣明					高橋千秋					野間一夫					浅野友行					大島重信										
9	花畑第一	生井由美					遠山辰雄					畑辺俊幸					大久保友行					小林美貴子																				
9	花畑西	古川美奈子										岸 伸典					須賀はる子					松野敬宣					関 昭男															
9	桜花	花畑東	芦川珠美										仲崎弘子					池田モモ子					真野喜介					別府晋作														
		桑袋																					那須幸子																			
10	中島根	武田伸一										米重哲彦					櫻井忠義					望月淳治					渡辺 栄															
10	瀏江	大西るり子										石鍋行雄					河内輝雄					太田義久					加藤 寛															
10	瀏江第一	高橋美由紀					飯島伸明					山本輝夫					菊池正一					石鍋賢治																				
10	西保木間	瀏江第二	橋本美津江										成田広恵					石丸亜佐子					吉澤たち子					須賀稔夫					長柄義巳									
		竹の塚北																										須賀 透					増田雅一					須賀忠一				
10	保木間	吉田弓子					栗原まり子					芦川直實																														
10	竹の塚	人見真吾										松村公子					石鍋元章																									
11	西新井第二	森岡裕子										中村隆之					西村秀彦					山本祥一																				
11	西伊興	佐藤正浩					北島文江					勝見俊夫					薬袋久美					水戸部あくり																				
11	東伊興	佐々木勝					田島 実					渡辺広一					元井一壽					塚原正子																				
11	栗原北	鈴島健司	村山新	加藤清典										荒堀安行					須田文子																							
11	伊興	磯 洋一										似鳥 進					高波国男					原富雄					奥泉博光					山下徐功										
12	鹿浜五色板	鹿浜上沼田	横山良和										阿田川孝子					浅香孝子					水戸定雄																			
12	鹿浜第一	原田 勉										鈴木時雄					金沢幹男																									
12	鹿浜未来	鹿浜西	高橋 進					福藤恭司					野辺陽子					岸 一夫																								
12		北鹿浜	渡邊淳子										鹿浜昭					鹿浜武夫					篠田芳信																			
12	血沼	浅香一浩										中野安男					鈴木彬夫																									
12	新田学園新田	倉持智光					笠原昌俊					五十畑重雄					福原慎市					茂出木久義																				
13	舎人	塚本京子					館山晴美					横田正実					天野直子					島崎義宣																				
13	足立入谷	入谷	清野美貴										岡野 寛					加藤勝美					山岸 弘					江崎 昭														
		入谷南																畠山喜一					渡辺義光																			
13	古千谷	前田典彦					緑川勝彦					花井友司					那須 進					小金井専一																				
13	舎人第一	小田川利幸										大駒健治					及川敏明					野村昕																				
B	学校名	旧学校名	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997	1996	1995	1994	1993	1992	1991	1990	1989	1988				
			R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14	H13	H12	H11	H10	H9	H8	H7	H6	H5	H4	H3	H2	H1	S63				

歴代青少年委員名簿〔中学校〕

B	学校名	旧学校名	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	旧学校名	学校名	B
			R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14			
1	第一		若色昭夫					石鍋安司		大木通子						高橋祐次				第一	1						
1	千寿 桜堤	第十六 第二	臼井智子					高橋雅代						出口正雄				第十六 第二	千寿 桜堤	1							
1	千寿青葉		大原恵子					北島一弘										千寿青葉	1								
2	江南		前田博司			田中則聡	吉川喜代美		竹之内茂樹				鈴木浩一				江南				2						
2	江北桜	上沼田 江北	橋本博子					日高佐和子						吉野光敏				上沼田 江北	2								
3	第六		竹田春彦		藤田義之						浜野君代				第六				3								
3	興本扇学園 扇		木島俊江						酒井悦子		小宮宏之				橋本あい子				興本扇学園 扇	3							
3	第五		土方紀昌		浅野成美		栗田泰夫						第五				3										
4	第七		内海博子	岡田真由美		小張悦子				川下勝利				第七				4									
4	第十		小島恵子					東誠一郎		戸田耕太郎						第十				4							
4	第九		遊馬正子						太齋利幸				第九				4										
5	第四		多島三好					田中敏明						第四				5									
5	第十一		前島政章						上總奈々子		日下部政利		名倉由美子		遠藤光彦				第十一	5							
6	蒲原		佐宗良哉				檜山真一		坂井一枝		四宮友彬				蒲原				6								
6	東綾瀬		大串朋嘉		大塚洋二		倉本文寛						東綾瀬				6										
7	第十二		関広太郎		佐藤根隆						第十二				7												
7	谷中		木村佳代				湯口多起子		富澤松夫						谷中				7								
7	第十三		菊地聡					西岡丈夫						第十三				7									
8	栗島		本田隆志		平田丈雄						栗島				8												
8	青井		小野 明		関根裕子		小宮邦夫		伊藤定雄				山形貴則				青井	8									
8	東島根		米永 博	速水雅彦					野口義雄						東島根				8								
9	花畑北		村上広太郎				仲崎弘子						花畑北				9										
9	花保		眞田敏子				鎌田秀一		松井景子				花保				9										
9	花畑		上田美根					山崎行男						花畑				9									
10	竹の塚		小林理恵子				吉澤たち子						竹の塚				10										
10	六月		芦川雅良				芦川直子		草間雅子						六月				10								
10	洲江		吉田雅子				小山純一						洲江				10										
11	西新井		島田香菜子	土岐理恵				芦葉 剛		高橋孝一				西新井				11									
11	第十四		島上有紀					吉川輝雄						第十四				11									
11	伊興		酒井 廣				齋木幸江						伊興				11										
12	加賀		太田安昭		船橋由美子						浅香一浩		鈴木彬夫				加賀	12									
12	鹿浜 菜の花	第八 鹿浜	松崎顕治						矢萩敏隆				第八 鹿浜 菜の花				12										
12	新田学園 新田		諏訪法和					橋本嘉朗		佐藤俊哉				新田学園 新田				12									
13	入谷		若山克彦		丸岡朋子			渋谷恒男			畠山喜一				入谷				13								
13	入谷南		板越由希子	寺嶋 政	松田秀樹		杉村暢之				大熊隆行				入谷南				13								
B	学校名	旧学校名	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	旧学校名	学校名	B
	健全育成団体		國井清伸 平成4年～平成6年																							健全育成団体	

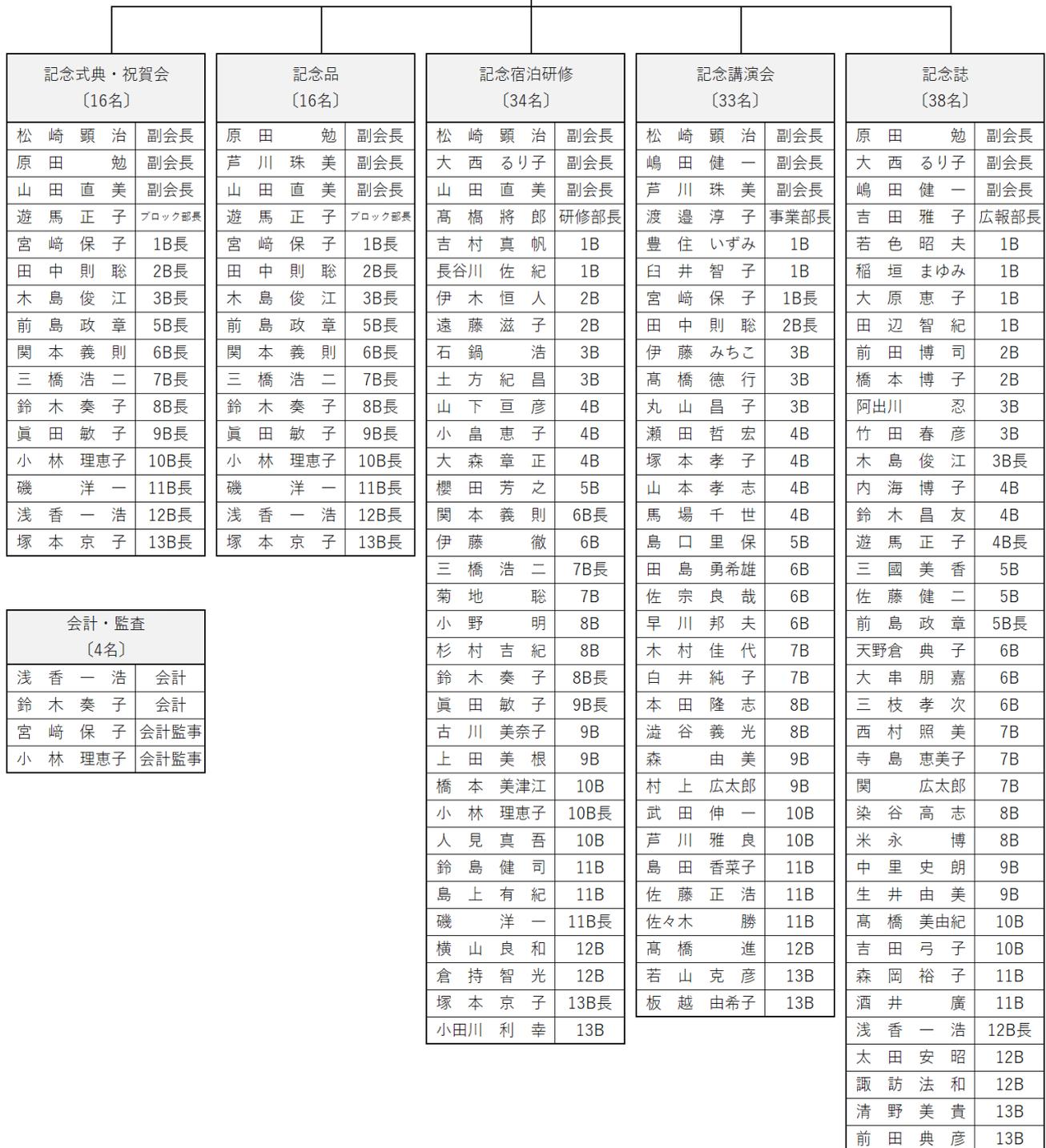
歴代関係職員名簿

年度	教育長	部長職	課長	係長
昭和38年度	吉田 司		福原源吉／梅山純二	鈴木慶夫／片山茂明
昭和39年度			梅山純二	片山茂明
昭和40年度				片山茂明／関 利治
昭和41年度			梅山純二／池田賢次	関 利治
昭和42年度				
昭和43年度			池田賢次	川島 孝
昭和44年度				
昭和45年度				
昭和46年度			池田賢次／鈴木恒年	
昭和47年度				
昭和48年度				
昭和49年度	椎名彦安	小森成男	川島 孝／小島和義	
昭和50年度				
昭和51年度				
昭和52年度	椎名彦安／梅山純二	八木幸男	秋庭真治	小島和義
昭和53年度				
昭和54年度	梅山純二	鈴木恒年	鈴木博司	江川三磨
昭和55年度				
昭和56年度	梅山純二／鈴木保壽	鈴木恒年／佐々木一彦	小泉寿久	片倉邦夫
昭和57年度				
昭和58年度	鈴木保壽	佐々木一彦	加賀美照男	原田磯平
昭和59年度				
昭和60年度	鈴木保壽／八木幸男	八木幸男	松田季美子	嶺岸聖那
昭和61年度				
昭和62年度	八木幸男	清水 弘	青木光夫	今井隆司
昭和63年度				
平成元年度	八木幸男／佐々木一彦	島田鏡次郎	加藤俊次	倉骨一廣
平成2年度				
平成3年度	佐々木一彦	久須美皓司	田口 実	石島 威
平成4年度				
平成5年度	青井千尋	河合 宏	仙波 茂	上河辺稔
平成6年度				
平成7年度	青井千尋／内藤博道	河合 宏／本間純子	益子完治	中村邦男
平成8年度				
平成9年度	内藤博道	小川正男	五十嵐隆	伊藤勝美
平成10年度				
平成11年度	内藤博道／斉藤幸枝	渋谷和雄	内田裕司	中山紀子
平成12年度				
平成13年度	内藤博道	渋谷和雄／石川純二	上遠野葉子	久保文雅
平成14年度				
平成15年度	内藤博道	石川純二	大谷博信	早崎直人
平成16年度				
平成17年度	内藤博道／斉藤幸枝	鈴木 章	寺島光大	嵯峨浩二
平成18年度				
平成19年度	内藤博道／斉藤幸枝	斉藤幸枝／岡野 進	渡邊 勇	田中浩之
平成20年度				
平成21年度	斉藤幸枝	岡野 進	山田 勉	白石光洋
平成22年度				
平成23年度	斉藤幸枝／青木光夫	紙谷 衛	物江耕一朗	
平成24年度				
平成25年度	青木光夫	村岡徳司	下河邊純子	
平成26年度				
平成27年度	定野 司	三橋雄彦		
平成28年度				
平成29年度	定野 司	伊藤良久		
平成30年度				
平成31年度(令和元年度)	定野 司	鳥山高章		
令和2年度				
令和3年度	大山日出夫	松野美幸		
令和4年度				
令和5年度	大山日出夫	上遠野葉子		

足立区青少年委員会

委員制度発足 70 周年記念事業実行委員会 組織図

実行委員長	[会長] 多島三好 (5B)
副実行委員長	[副会長] 山田直美 (7B)、嶋田健一 (8B)、芦川珠美 (9B) 大西るり子 (10B)、原田勉 (12B)、松崎顕治 (12B)
実行委員	遊馬正子 (ブロック部長: 4B長) 宮崎保子 (1B長)、田中則聡 (2B長)、木島俊江 (3B長) 前島政章 (5B長)、関本義則 (6B長)、三橋浩二 (7B長) 鈴木奏子 (8B長)、眞田敏子 (9B長)、小林理恵子 (10B長) 磯洋一 (11B長)、浅香一浩 (12B長)、塚本京子 (13B長) 渡邊淳子 (事業部長)、高橋将郎 (研修部長)、吉田雅子 (広報部長)



青少年委員担当職員

物江耕一朗 青少年課長（写真中央）
白石光洋 青少年課管理調整係長（写真右）
服部望美 青少年課管理調整係（写真左）



掲載写真（タイトル・撮影場所・撮影者）

第7回足立区街フォトコンテスト応募作品

- 表表紙 西新井橋と富士山（梅田の荒川河川敷）
〔撮影者〕 Fujinazaka
- 裏表紙 日本最古のタイドアーチ橋（千住大橋）
〔撮影者〕 むさし
- 2 頁 桜に映える（舎人公園）
〔撮影者〕 ブリッツェン
- 9 頁 五色桜大橋通過（江北橋）
〔撮影者〕 るろうに真劍
- 14 頁 水鏡（荒川千住新橋付近）
〔撮影者〕 Iku
- 15 頁 冬の日暮里舎人ライナー
（千住元町の荒川土手）
〔撮影者〕 Fujinazaka
- 42 頁 雨上がり（舎人公園）
〔撮影者〕 みゆ
- 〃 晩秋（舎人公園）
〔撮影者〕 みゆ
- 56 頁 静かな水面（荒川河川敷）
〔撮影者〕 Tanzan
- その他掲載写真（青少年委員会 広報部より）

写真・資料提供

足立区観光交流協会
足立区立郷土博物館
足立区青少年委員会 広報部

編集後記

足立区の青少年委員制度が発足し、今年度で70年目を迎えました。青少年委員会では、委員制度発足70周年記念事業のメインテーマを「生きる」、サブテーマを「未来の子どもたちへ」と設定し、我々青少年委員会が地域社会・学校・家庭・関係諸団体などと連携のうえ、足立区の子供たちにとって最善な成長環境を創り上げ、生きる力を身に付けるための健全な成長をサポートすることを想いとして掲げました。

ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、委員会活動を余儀なく停止することが難しい状況にありました。しかしながら、教育委員会・関係諸団体の皆さまをはじめ、役員会・ブロック部・専門部等が一致団結し、皆さま方のご協力の下、ここに委員制度発足70周年記念事業の記念誌が滞りなく発行できましたこと、心より深く感謝申し上げます。

足立区青少年委員会 正副会長会



静かな水面

青少年委員制度発足 70 周年記念誌

「生きる」

～ 未来の子どもたちへ ～

編 集 足立区青少年委員会

委員制度発足 70 周年記念事業実行委員会

発 行 令和 6 年（2024 年）2 月 1 8 日



富嶽三十六景 武州千住



日本最古のタイドアーチ橋